LIXIL

保証書付

洗面化粧台

MV

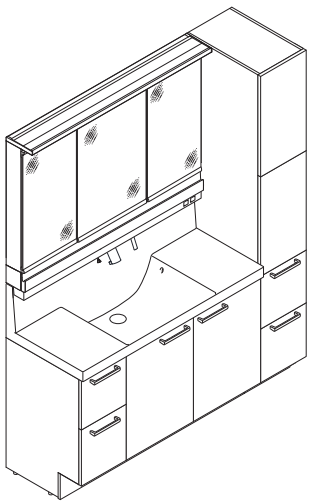
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

■ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■取扱説明書にはご使用方法などを掲載しています。お手入れの内容は別冊「お手入れガイド」に掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

■ミラーキャビネットについて。
本書ではMVシリーズミラーに関する記載をしております。他シリーズミラーを組み合わせて設置されたお客様はお手数ですが弊社WEBサイトにて該当商品の取扱説明書をご確認ください。
http://www.biz-lixil.com/descript/search.php



取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※この取扱説明書とお手入れガイド、機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せるところへ保管してください。

※転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者さまへ
取扱説明書と**お手入れガイド**は必ずお客さまにお渡しください。

各部のなまえ …… 1
「くもり止めコート」について …… 3
安全上のご注意 …… 4
使用時のご注意 …… 10
許容重量 …… 11

ご使用方法 …… 14
●照明 …… 14
●コンセント …… 14
●スマートポケット …… 15
●収納トレイ …… 16
●水栓金具 …… 17
●排水栓の開閉 …… 20
●プッシュラッチ扉の開閉 …… 20
●引出しの開閉 …… 20
●引出しの取外し・取付け …… 22
●棚板の取付け・取外し …… 24
●オプション …… 25

お掃除方法 …… 27
●鏡 …… 27
●ミラー本体・収納トレイ・照明カバー・スマートポケット 27
長くお使いいただくために …… 28
●LED照明 …… 28
●蛍光ランプの交換 …… 28
●電子スタータの交換 …… 29
●鏡扉の調節 …… 29
●スイッチパネルのお手入れ …… 29
●水栓金具 …… 30
●水の量の調節 …… 33
●扉の調節 …… 34
●引出しの調節 …… 37
●タオル掛の調節 …… 40
冬期凍結の恐れがある場合 …… 41

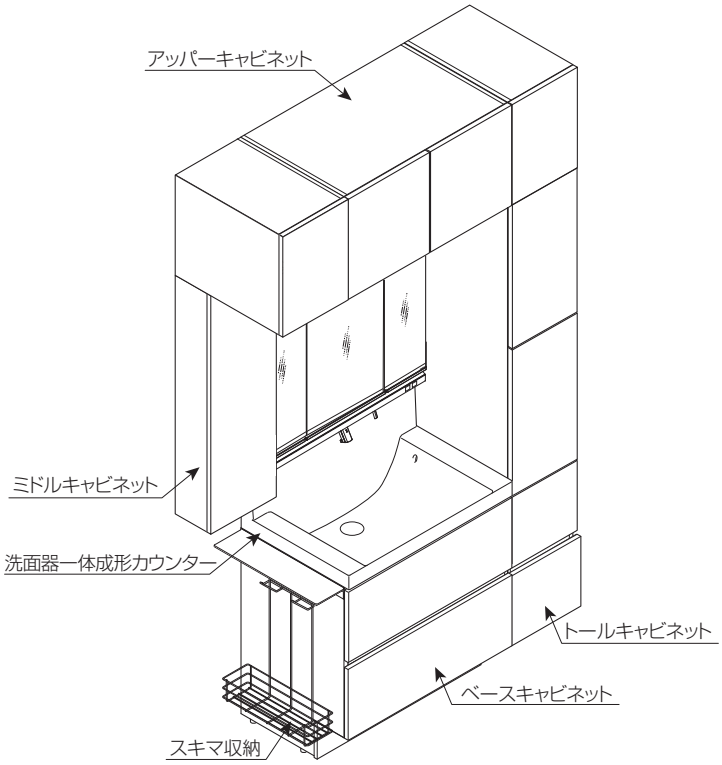
故障かな?と思ったら …… 42
アフターサービスについて …… 44
●修理を依頼される前に …… 44
●保証書をご覧ください …… 44
●修理を依頼されるとき …… 45
●品番を調べる …… 46
●部品の保有期間について …… 47

仕様 …… 48
オプション品・交換部品 …… 52
廃棄について …… 53
保証書 …… 54

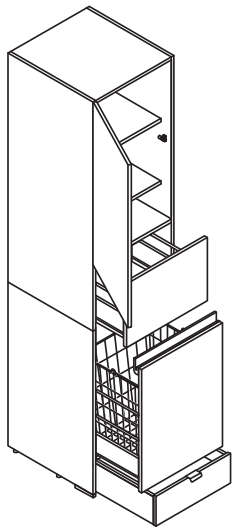
各部のなまえ

・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

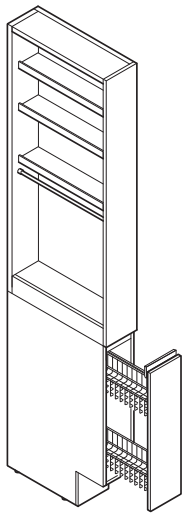
キャビネットの名称

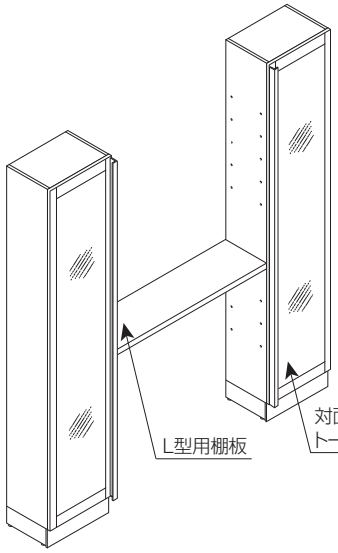


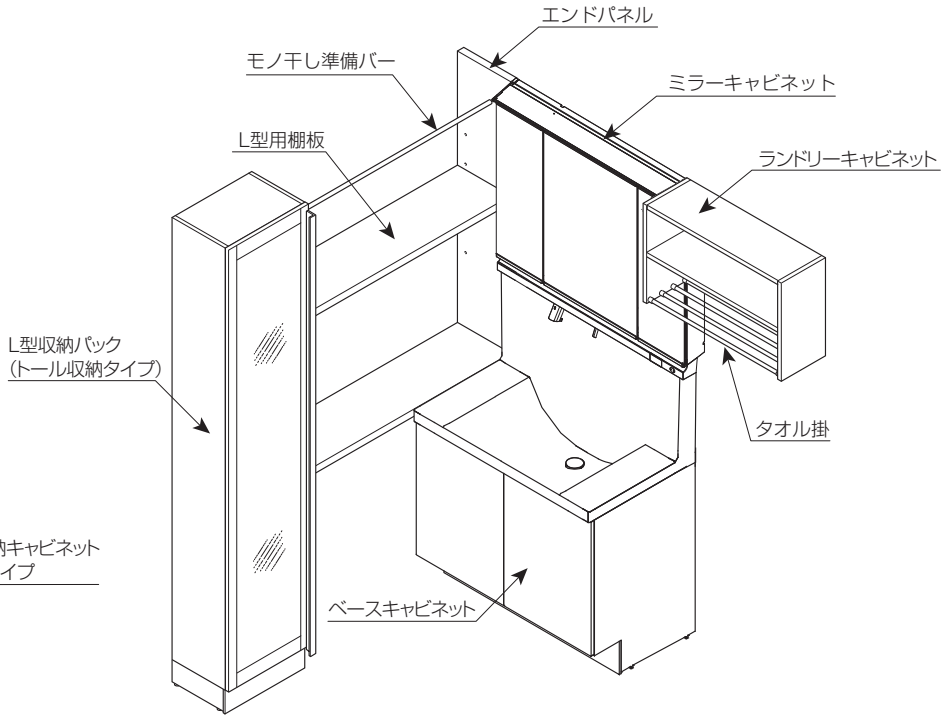
●トールキャビネット
ランドリータイプ



●トールキャビネット
オープンスライドタイプ



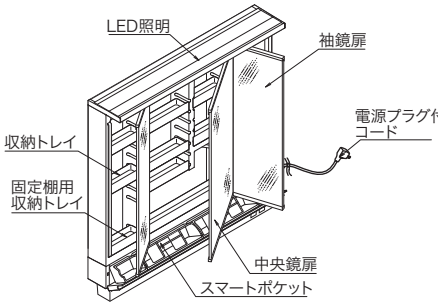




ミラーキャビネットの種類

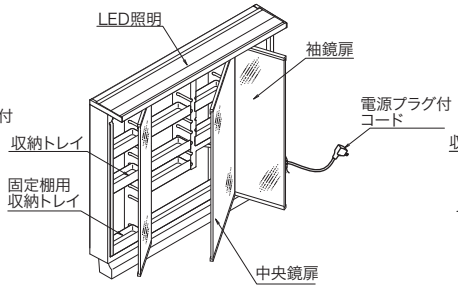
●LED照明、スマポケタイプ

MVJ-＊＊＊3KXJU(-G)



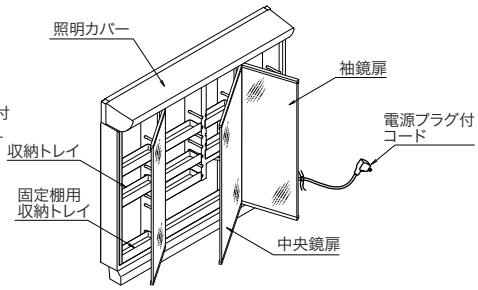
●LED照明タイプ

MVJ-＊＊＊3TXJU(-G)



●蛍光灯タイプ

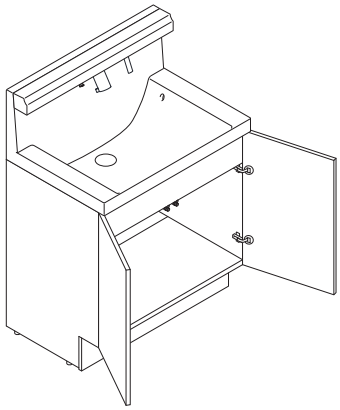
MVJ-＊＊＊3TX(U)(-G)



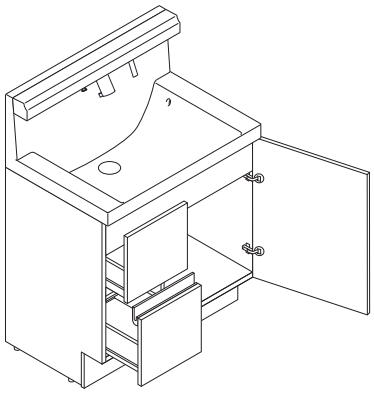
※直結式電源仕様は品番末尾に「-G」が付きます。電源はミラーキャビネット裏で建築側の電気配線と直結するため、電源プラグ付コードはありません。
※品番にUが付く場合のみ、3面鏡は中央鏡がくもり止めコートになります。

化粧台の種類

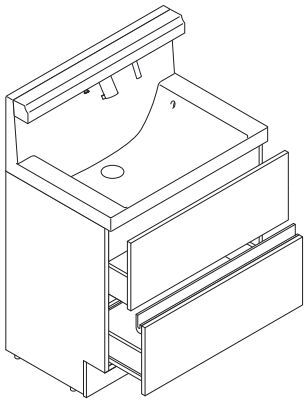
●扉タイプ



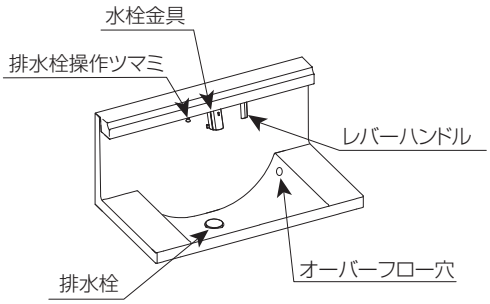
●引出タイプ



●フルスライドタイプ

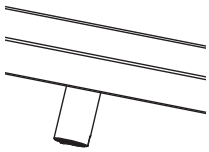


洗面ボウルの器具名称



水栓金具の種類

●シングルレバーシャワー水栓



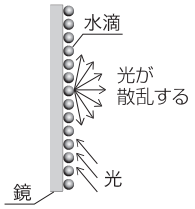
「くもり止めコート」について

「くもり止めコート」のしくみ

：「U」が付いている品番のみ。
：3面鏡は中央の鏡のみ。

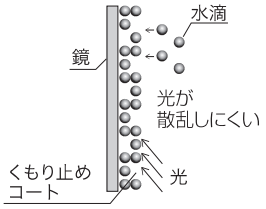
鏡表面に『吸水性』と『親水性』の2つの性質を持つ柔らかい樹脂膜がコーティングしてあり、鏡がくもりにくくなっています。

従来の鏡

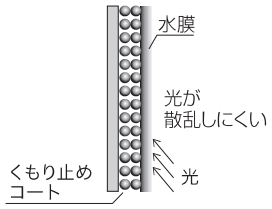


洗面室の水蒸気が鏡の表面に付着して光が水滴で散乱し、くもる。

くもり止めコート付の鏡



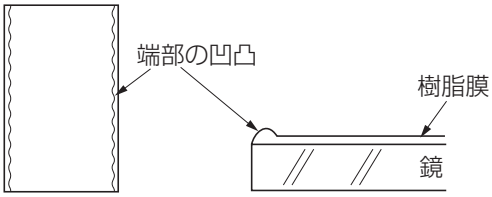
洗面室の水蒸気をくもり止めコートが吸収し、光が散乱しにくく、くもりにくくする。



水分が飽和しても表面に水膜をつくるため、光が散乱しにくく、くもりにくくする。

●浴室の蒸気などが急激に付着すると鏡像がゆがんで見えたり、くもりが発生したりすることがあります。
くもりが発生した場合は、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

●「くもり止めコート」は鏡表面に柔らかい樹脂膜をコーティングしているため、端部に凹凸があります。



正面図　断面図

ご使用時の注意

●キズや色がついた所は強くこすらない。

※キズの部分からコーティングがはがれる恐れがあります。

鏡表面が変色・変形・キズがついた場合
補修できませんので、**有料修理による部品交換**になります。

●鏡表面にテープ、シールなど粘着性のあるものやジェル状の飾り、吸盤などを貼らない。

※表面が変色(着色)し、取れなくなります。

●毛染液・化粧品・液体うがい薬などがつかないように注意する。

※表面が変色(着色)し、取れなくなります。変色(着色)した場合は、下記のお手入れを行ってください。

お手入れ方法

■毎日のお手入れ

鏡表面を柔らかいきれいな布で水拭きした後、乾いた柔らかいきれいな布で水分を取ってください。

■週1回のお手入れ

柔らかいきれいな布に約5倍に薄めた食器用中性洗剤（透明）を含ませて絞り、鏡表面の汚れを軽く拭いてください。

お願い

研磨剤入りの洗剤や固い布・ナイロンタワシなど使用しない。

※表面にキズがつく恐れがあります。

食器用中性洗剤に含まれる界面活性剤がくもり止め効果をより長持ちさせます。

・変色した場合…すぐに食器用中性洗剤（透明）を染み込ませたコットンを1～2時間貼り付けた後、水を含ませた柔らかいきれいな布で軽く拭くことで薄くすることができます。

・歯磨き粉が付いた場合…水を含ませた柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

安全上の注意（必ずお守りください）

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご覧のうえ、ご使用ください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
	「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」
	「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
	「電源プラグをコンセントから抜いてください！」

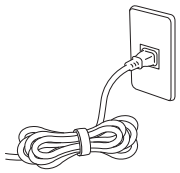
警告

全体

●改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。

●スイッチやコンセント、電源プラグに水をかけたりぬれた手で触ったりしない。
※漏電や感電の恐れがあります。

●電源コードは束ねたまま使用しない。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。



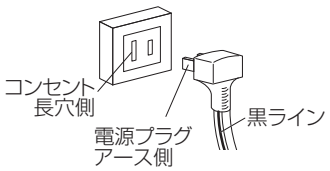
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重い物を乗せたり、挟み込んだりしない。
※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しない。
※発火、ショート、感電の原因になります。

●雷が発生しているときは、電源プラグに触らない。
※感電の原因になります。

●電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独で使用する。
※発熱や発火による火災の恐れがあります。

●電源プラグは、アース側の刃(コードの黒ライン側)をコンセントの長穴に差し込む。
※逆向き接続は照明交換時に感電の恐れがあります。

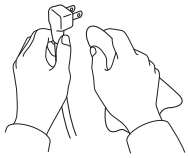


全体

●電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込む。
※発火、ショート、感電の原因になります。

●電源プラグを抜くときは必ずプラグ本体を持つ。
※コード部分を引っ張るとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

●電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布で拭き取る。
※電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。



●コンセントを使用するときは、表示電力(合計1300W)を守る。
※表示電力を超えると発熱や発火により火災になる恐れがあります。

●照明を交換する場合は、照明スイッチを切ってから行う。
※ヤケド・感電の恐れがあります。(☞28ページ)

●ドライヤーなどの電気器具の使用後は、コンセントから電源プラグを抜いて収納する。
※スイッチが不意に入り、発熱や発火による火災の恐れがあります。

⚠ 警告

水栓金具

●小さいお子さまだけで使用しない。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。

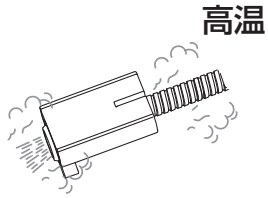
●水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しない。
※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因になります。
※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。

●他所の水栓金具と同時に使用しない。
※圧力変動により、温度が急上昇しヤケドをする恐れがあります。

●給湯機器の温度設定は85℃以上で使用しない。
※水栓が破損し、ヤケドや家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※なお、誤作動などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。

水栓金具

●高温の湯の使用時は、シャワーホースが高温になっているため、直接肌に触れないよう注意する。
※ヤケドをする恐れがあります。



●高温の湯の使用後は、水栓金具内に高温の湯が残らないようしばらく水を流す。
※次の使用時に水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

●定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認する。
※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

●使用前に必ず適温であることを確かめる。

●お湯の使用時は、必ずレバーハンドルを水側から開栓して、その後ゆっくり湯側へ回して温度の調節をする。
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出し、ヤケドをする恐れがあります。

⚠ 注意

全体

●製品を傷つける洗剤や有機溶剤などは絶対に使用しない。

※破損・漏水の原因になります。
・有機溶剤（シンナー・ラッカーなど）・除光液
・薬品（アルコール、塩酸など）　・漂白剤
・酸性／アルカリ性／塩素系の洗剤

●排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。

※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。

●洗面ボウル、引出し、扉、取っ手などに乗ったり、ぶら下がったりしない。

※部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

●お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯管に触らない。

※ヤケドをする恐れがあります。

●鏡やアルミ枠扉に手をついたり、たたいたりしない。

※鏡や樹脂板が割れてケガをする恐れがあります。

●商品のガタツキや破損、故障が起きた場合は、すぐに使用を中止し修理を依頼する。

※使用を続けると、より大きな損害やケガの恐れがあります。（☞45ページ）

※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中止の際に必ずスイッチを切り電源プラグを抜いてください。

●洗剤や洗浄剤などはそれぞれの「使用上の注意」に従う。

※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

全体

●化粧品・除光液・うがい薬などが付着したら、すぐに拭き取る。

※除光液、クレンジング剤などの化粧品、整髪料、毛染剤、脱色剤、うがい薬、芳香剤、漂白剤、洗剤などは、製品に悪影響を与えるものもあります。

※ヒビ割れや変形が発生して部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

※くもり止めコートの鏡ではくもり止め効果が低下する恐れがあります。

●キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉め、保管方法に注意する。

※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや動作不良の原因になります。

※キャビネットや容器に付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

ミラーキャビネット

●照明器具に水をかけない。

※ランプが割れ、ケガをする恐れがあります。

●点灯中や消灯直後は、ランプや照明カバーに触らない。

※ヤケドをする恐れがあります。

●照明器具にぶら下がったり、力を加えたりしない。

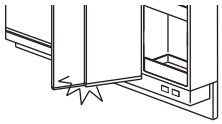
※落下・破損してケガをする恐れがあります。

●LED照明部を長時間直視しない。

※目を傷める恐れがあります。

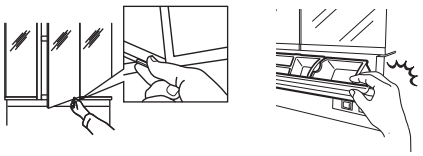
●隣合う鏡扉は同時に開けない。

※鏡扉同士が接触して破損し、ケガをする恐れがあります。



●鏡扉の隙間に指を入れたり、蝶番やステーの可動部を触ったりしない。

※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時には特に注意してください。

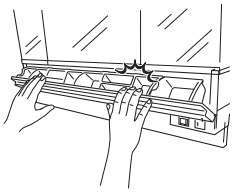


⚠ 注意

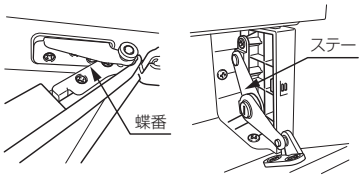
ミラーキャビネット

●棚や収納トレイ、スマートポケットに物を入れすぎない。
※ 破損や落下により、ケガをする恐れがあります。

●スマートポケットにぶら下がらない。
※部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



●蝶番やステーに油をささない。
※潤滑油が本体の樹脂に付着すると劣化やヒビ割れが生じて、鏡扉が落下しケガをする恐れがあります。



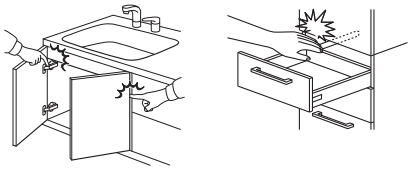
●鏡に直接水をかけない。
※漏水や鏡の腐食の原因になります。

●照明カバーは確実に取り付ける。
※照明カバーが落下して破損やケガの恐れがあります。

キャビネット

●扉を大きく開けすぎない。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。

●扉の隙間に指を入れたり、レールや蝶番の可動部に触ったりしない。
※開閉時に指を挟みケガをする恐れがあります。
小さなお子さまの使用時は特に注意してください。



●モノ干し準備バーやランドリーキャビネットのタオル掛、ハンガーにぶらさがったり、掛けたタオルなどを強く引っ張ったりしない。
※バーが破損・変形して落下し、けがをする恐れがあります。

●扉が傾いたり、ガタついたりする場合は、扉の調節や付けなおしを行う。
※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。（☞34～39ページ）

⚠注意

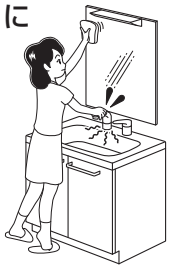
洗面ボウル

●**洗面ボウルに熱湯を注がない。**
※急激な温度変化により洗面ボウルが割れて漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

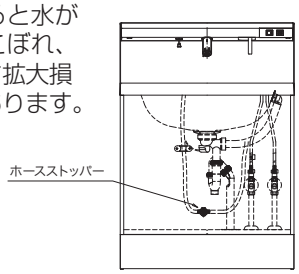
●**洗面ボウルに重いものや固いものを落とさない。**
※洗面ボウルが割れてケガをする恐れがあります。また、漏水により家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

水栓金具

●**水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。**
※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。



●**水栓金具のホースストッパーは位置をずらさない。**
※ホースが出すぎると水が洗面ボウルからこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。



●**ハンドシャワー引出し口に直接水をかけない。**
※水がキャビネット内に侵入し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

●**メッキ面のハガレはそのまま放置しない。**
※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。
※すぐに使用を中止し修理を依頼してください。
（☞45ページ）

●**水抜き栓は水抜き以外の目的で開けない。**
※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

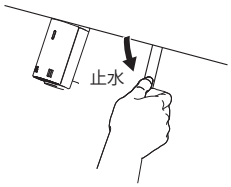
●**直射日光が当たる場所では使用しない。**
※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。

水栓金具

●**体格や身体状況により、使用時に化粧台と頭などが接近するため、頭などをぶつけないように注意する。**
※ケガをする恐れがあります。

●**凍結が予想される場合は、必ず水抜きを実施する。**
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。
（☞41ページ）

●**断水時は水栓金具のレバーハンドルを必ず「止水」の位置にする。**
※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。



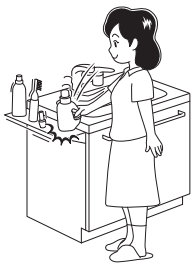
●**レバーハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こす恐れがあるため、ゆっくり操作する。**
※漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

●**旅行などで長期間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じて電源プラグをコンセントから抜く。**
※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。

オプション

●**スキマ収納に物を載せるときは勢いよく載せない。**

●**棚板には手をついて体重をかけない。**
※棚板・ラックが破損・落下しケガをする恐れがあります。

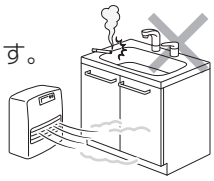


使用時のご注意

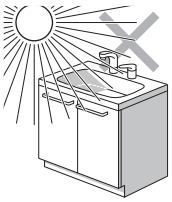
故障をおこさないためにお守りください

全体

●ヒーターなどの暖房器具やタバコ・マッチなどの火気を近づけない。
※変形やコゲ跡が付く恐れがあります。



●直射日光やスポット照明・殺菌灯などを当てない。
※変色や変形の恐れがあります。直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。



●ヘアピンやカミソリの刃などの金属類を放置しない。
※サビが取れなくなる恐れがあります。

●排水器具のレリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしない。また、収納物が接触しないように注意する。
※レリースワイヤーが切断・破損して、排水栓を開閉できなくなる恐れがあります。

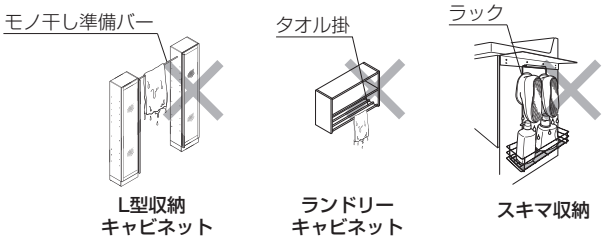
●吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置などを使用しない。
※吸盤を貼った周辺が変色する恐れがあります。

キャビネット

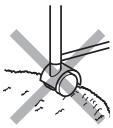
●キャビネットに水などをこぼさない。ぬれたらすぐに拭き取る。
※表面だけでなく、水がたまりやすい上下端部も拭き取ってください。
※木質でできていますので、水を含んで膨れたり、表面材が剥がれたりする原因になります。

●キャビネット内の配管や配線に収納物などで無理な力を加えない。
※漏水、発熱・発火の恐れがあります。

●収納物は十分に水気を落として収納する。
※周囲のキャビネットが水を含んで膨れたり、表面材が剥がれたりする原因になります。



●キャスターの前や下に毛足のカーペットやバスマットを敷かない。
※キャスターに糸が絡み動きにくくなる恐れがあります。
・体重計収納



ミラーキャビネット

●ヘアードライヤーなどの熱風を当てない。
※変形・変色する恐れがあります。

●ミラーキャビネットの上に物を載せない。
※破損や変形する可能性があります。

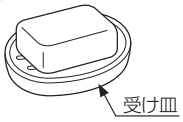
●鏡に冷水や熱湯をかけない。
※急激な温度変化により、鏡が破損する恐れがあります。

●ラジオやテレビなどの電源を受信する機器はミラーキャビネットの近くで使用しない。
※雑音やちらつきの原因になります。

洗面ボウル

●洗面ボウルに直接石けんを置かない。必ず受け皿を使用する。

●ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、こまめに拭き取る。
※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、洗面ボウルが変色したり光沢がなくなったりする恐れがあります。

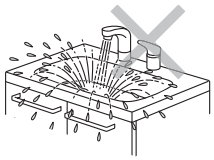


水栓金具

●水ためは「整流」で行う。
※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる恐れがあります。

水栓金具

●水ハネが多い場合は水の量を調節する。
※(☞33ページ)

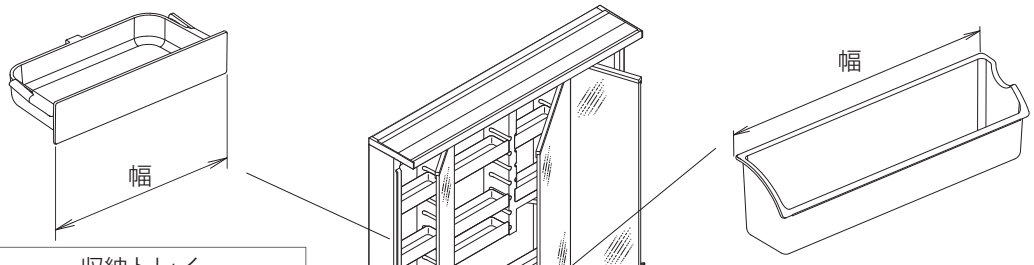


許容重量

※許容重量は、均等に物を載せた場合の値です。

・下記の許容重量を超えないように使用してください
過剰に収納すると変形・破損し、ケガの原因になります。

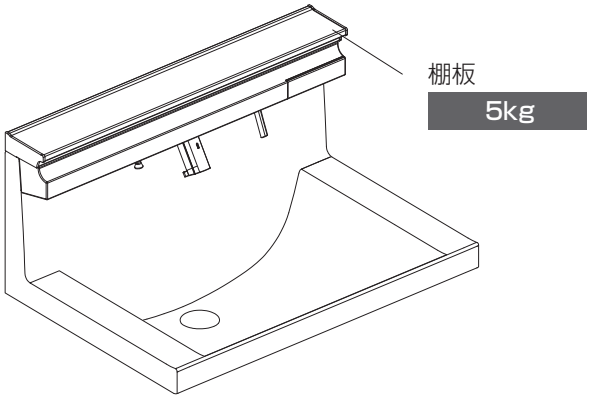
ミラーキャビネット(3面鏡)



収納トレイ
トレイ 幅225…0.5kg
トレイ 幅275…0.7kg
トレイ 幅300…0.8kg
トレイ 幅375…1.0kg
トレイ 幅450…1.5kg
トレイ 幅525…1.7kg

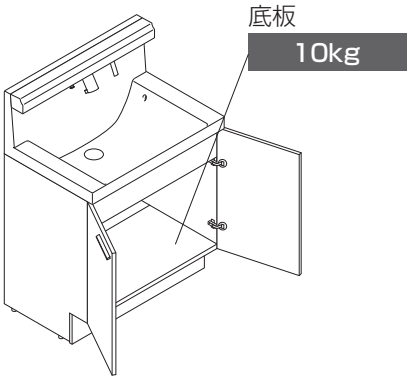
スマートポケット用トレイ
トレイ 幅110…0.3kg
トレイ 幅300…0.8kg
トレイ 幅350…1.0kg
トレイ 幅450…1.2kg

棚板(棚ユニット)

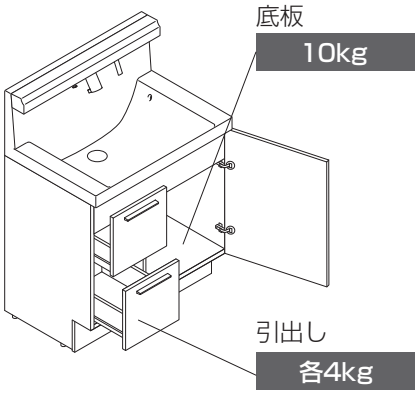


ベースキャビネット

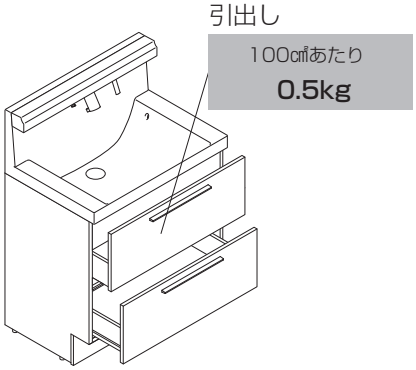
●扉タイプ



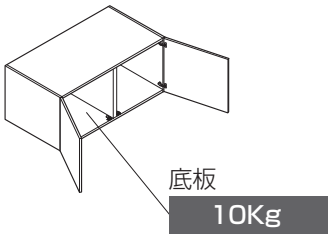
●引出タイプ



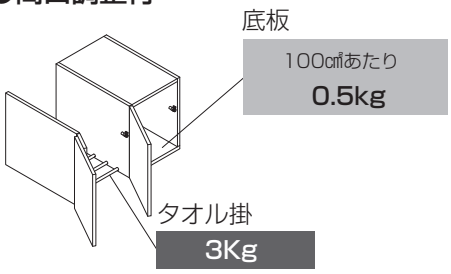
●フルスライドタイプ



アッパーキャビネット

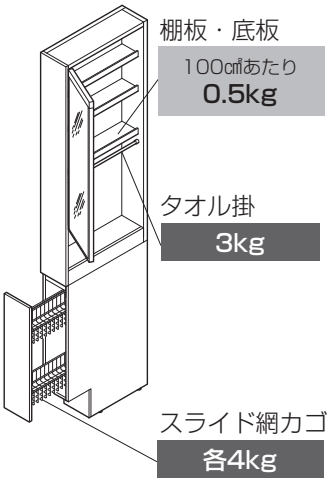


●間口調整付

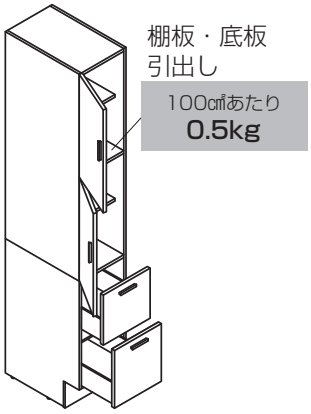


トールキャビネット

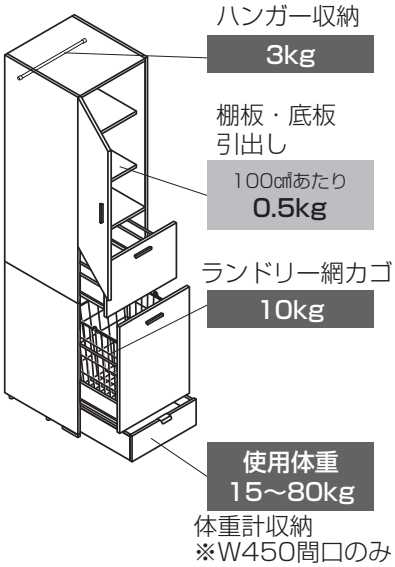
●鏡扉タイプ



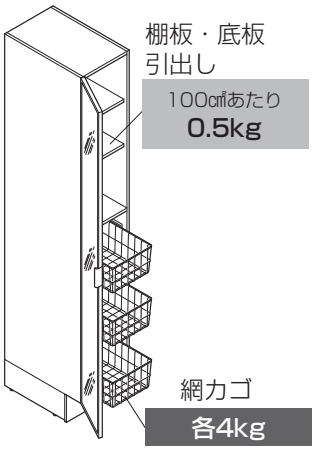
●標準



●ランドリータイプ

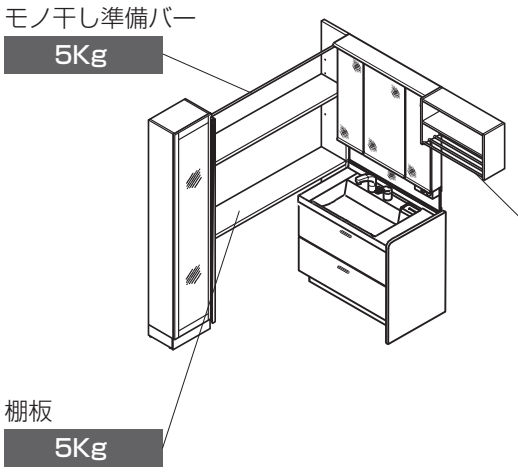


●姿見タイプ



L型収納パック

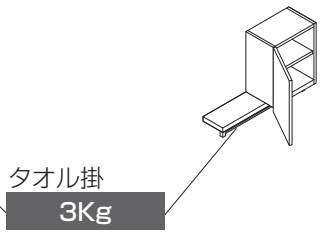
●オープンタイプ

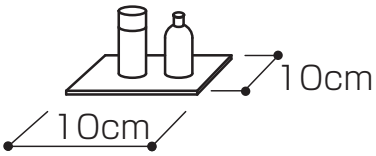


・上記以外の棚板、底板、引出しなどは、
10㎝×10㎝（100㎠）あたり0.5kgです。

ランドリーキャビネット

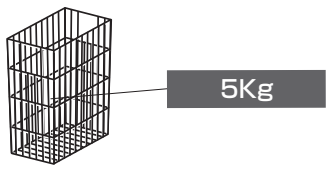
●間口調整付



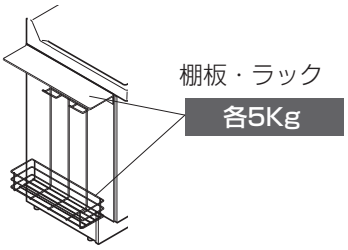


オプション

●サイドバスケット



●スキマ収納

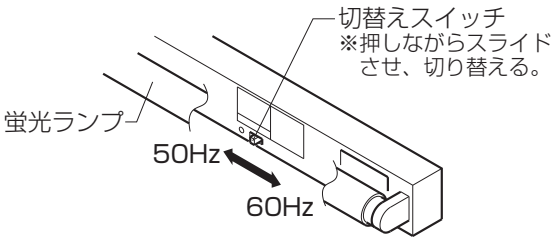


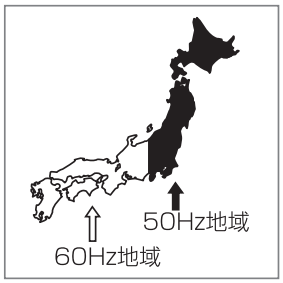
ご使用方法

照明

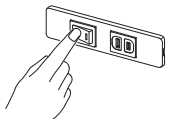
〈蛍光ランプの場合〉

ご使用前に使用地域の周波数に合わせてください。
※購入時は50Hzです。





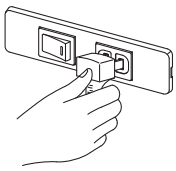
つける 照明スイッチの右側を押します。
消　す 照明スイッチの左側を押します。
※蛍光ランプの場合、点灯時にオーディオ機器にノイズが入る可能性がありますが故障ではありません。



LEDにはバラツキがあるため、光色、明るさが異なる場合があります。

コンセント

電源プラグを差し込み穴にまっすぐ差し込みます。



⚠ 警告

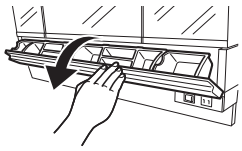
●コンセントを使用するときは、表示電力(合計1300W)を守る。
※表示電力を超えると発熱や発火により火災になる恐れがあります。
●ドライヤーなどの電気器具の使用後は、コンセントから電源プラグを抜いて収納する。
※スイッチが不意に入り、発熱や発火による火災の恐れがあります。

スマートポケット

■扉の開閉方法

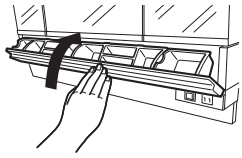
開ける

手かけを持って手前下に
開きます。スローダウン機構
により、ゆっくり開きます。



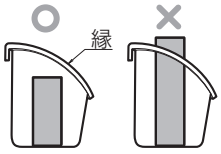
閉める

手かけを持って閉めます。
スローダウン機構により、
ゆっくり閉まります。



お願い

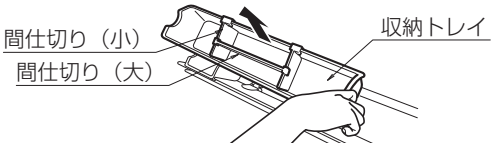
収納トレイの縁から出ないように収納する。
※スマートポケットが破損する恐れがあります。



■収納トレイの取付け、取外し方法

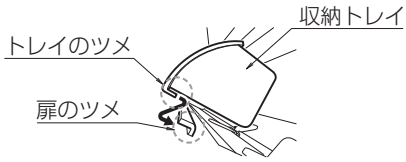
取外し方法

収納トレイを上方に持ち上げます。



取付方法

収納トレイのツメを扉のツメに合わせて取り付けます。



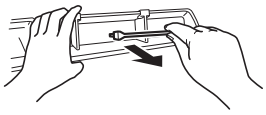
お願い

必ずツメを合わせる。
※スマートポケットが破損する恐れがあります。

■間仕切り（大）（小）の取付け、取外し方法

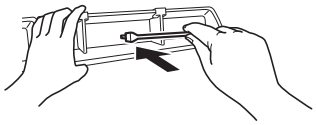
（大）の取外し方法

収納トレイに手を添えて
間仕切り（大）を上方に
持ち上げます。



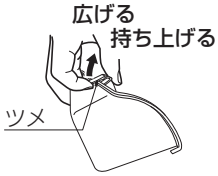
（大）の取付方法

間仕切り（大）を奥まで
差し込みます。



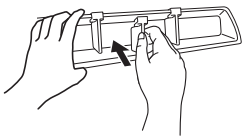
（小）の取外し方法

間仕切り（大）を取り外した後、
間仕切り（小）のツメを広げて
上方へ持ち上げます。



（小）の取付方法

間仕切り（小）を奥まで
差し込みます。



お願い

間仕切りの取付け・取外しは、必ず収納物を取り出し、収納トレイを取り外してから行う。
※収納物が落下したり、収納トレイや間仕切りが破損する恐れがあります。

収納トレイ（3面鏡）

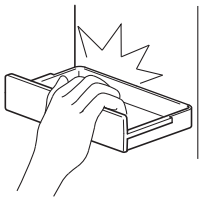
収納トレイはミラータイプやミラー間口により異なります。該当する収納トレイの着脱方法をご覧ください。

⚠ 注意

収納トレイは確実に奥まで差し込む。
※収納トレイや収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。
※取付後は、しっかりはまっていることを確認してください。

お願い

●**本体最下段には必ず収納トレイを使用する。**
※取り付けないと収納物が落下しやすくなります。
●**収納トレイにつかまったり、強く引っ張ったりしない。**
※破損や変形の原因になります。
●**収納トレイに物を載せすぎない。許容重量を守って使用する。**（☞11ページ）
※変形･破損する恐れがあります。



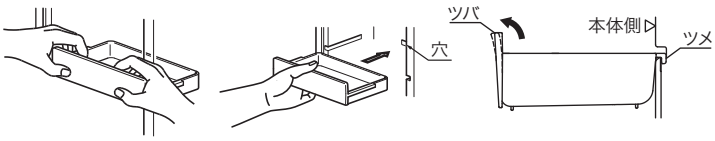
■収納トレイ（小）･（中）の着脱方法

取外し方法

収納トレイを両手で持ち、ツバを手前に広げて本体内部からツメを取り外します。

取付方法

トレイ後面が本体側の穴に入り込むまで、しっかり差し込みます。

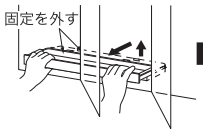


【収納トレイを着脱する場合】
鏡扉の開き角度を90度にすると着脱しやすくなります。

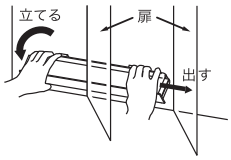
■収納トレイ（大）の着脱方法（間口750の場合のみ）

取外し方法

① 収納トレイを持ち上げてから手前に引き、固定の位置から取り外します。

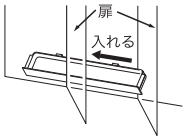


② 収納トレイを前に倒して立て、扉を避けながら取り出します。

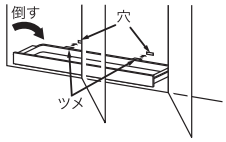


取付方法

① 収納トレイを立てた状態で扉を避けながら本体内に入れます。



② 収納トレイを水平に倒し、背面のツメを本体側の穴にしっかり差し込みます。

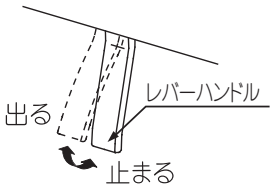


水栓金具

即湯器の取扱いについては、即湯器の取扱説明書をご覧ください。

■吐水方法

レバーハンドルを上げると吐出し、上げ具合で吐出量を調節できます。レバーハンドルは左右どの位置でも下げると止水します。



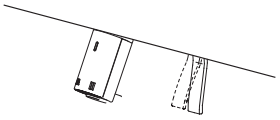
【水止め後の水垂れ(少量)】
水を止めた後に少しのあいだ水が垂れるのは、切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。

ご使用方法

⚠ 注意

●レバーハンドルはゆっくり操作する。

※急に開閉すると急激な圧力変動により配管が破損し、漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

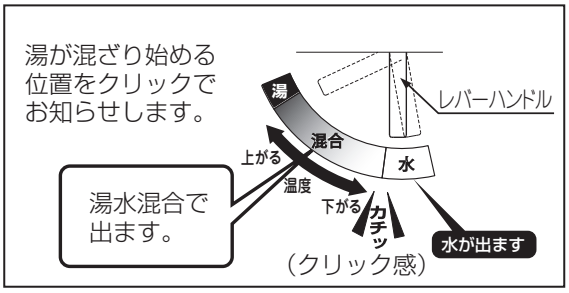


●使用時に、棚や扉のかど、水栓の吐水口やハンドルで頭を打たないように注意する。

※ケガをする恐れがあります。

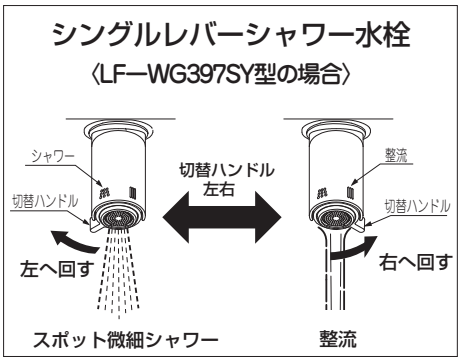
■温度の調節

レバーハンドルが正面位置にあるときは水になり、左側へ回すと吐水温度が上がります。
レバーハンドルが使い易い正面位置にあるときは水になるので、無意識に湯を使用することなく給湯器の無駄な着火を抑制できます。



■整流・シャワーを切り替える

切替ハンドルを左に回すとシャワー、右に回すと整流に切り替わります。



⚠ 注意

ハンドルは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替える。
※中間位置で止めると水が飛びはね、衣服がぬれる
可能性があります。

切替ハンドルをシャワー位置に切り替える際、操作が重く感じることがありますが、構造上パッキンをつぶすための抵抗感であり、不具合ではありません。
※整流位置に切り替える際は、抵抗感はありません。

■ハンドシャワーを引き出す

ハンドシャワーを持ち、台座から引き出します。
使い終わったら、必ず台座に戻してください。

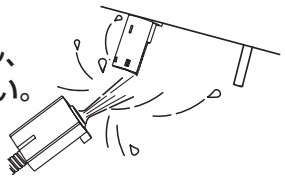
●ハンドシャワーが戻しにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納します。
●寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、ホースにお湯または水を通水します。

⚠ 注意

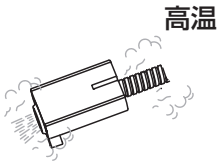
●吐水部に無理な力を加えない。
※破損や漏水で家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

●ハンドシャワーの引出し口やスイッチパネルに水をかけない。
※キャビネット内に水が侵入し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。

●掃除をする時などに、ハンドシャワー引出し部やレバーハンドル、ミラーキャビネットとスイッチパネルの隙間に直接水をかけない。
※キャビネット内に水が浸入する恐れがあります。



●高温の湯の使用時はシャワーホースが高温になっているため、直接肌に触れないように注意する。
※ヤケドをする恐れがあります。

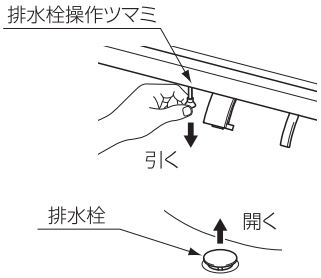


●ハンドシャワーを台座に戻す際、指を挟まないよう注意する。
※ケガをする恐れがあります。

排水栓の開閉

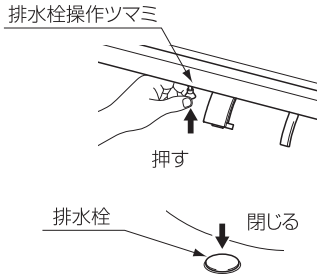
開く

排水栓操作ツマミを引きます。



閉じる

排水栓操作ツマミを押します。



【砂などがかみ排水栓が上がらない場合】
排水栓に布粘着テープを貼り、持ち上げてください。

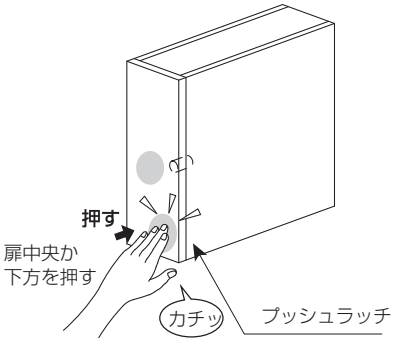
プッシュラッチ扉の開閉

開ける プッシュラッチ付近を指で押すとロックが解除され、扉が開きます。

閉める プッシュラッチが「カチッ」と音がするまで扉を押し込みます。

プッシュラッチ付のキャビネット

- ベースキャビネット
- ミドルキャビネット
- アッパーキャビネット
- トールキャビネット
- ランドリーキャビネット（間口調整付）
- アッパーキャビネット（間口調整付）



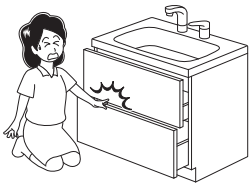
引出しの開閉

開ける 取っ手に指をかけ手前に引き出します。

閉める 引出し中央を奥に押します。

⚠ 注意

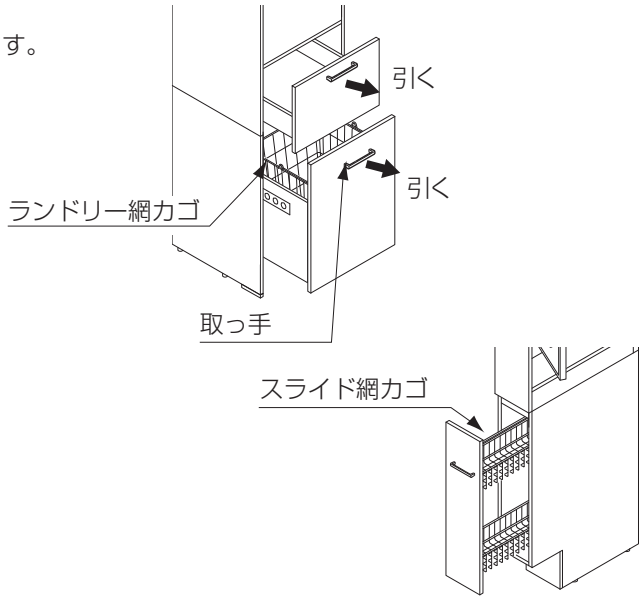
上段・下段を同時に開けない。
※上下の引出しで手を挟み、ケガをする恐れがあります。



トールキャビネット引出しの場合

開ける 取っ手を持って、手前に引き出します。

閉める 引出し中央を奥に押します。

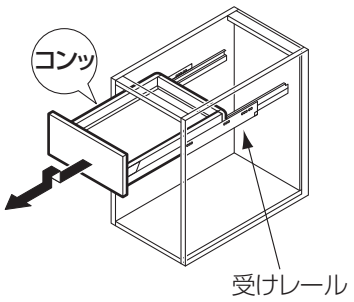


引出しの取外し・取付け

フルスライドタイプ、トールキャビネット下段ランドリータイプの場合

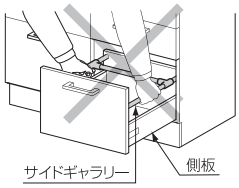
取り外す

引出しを止まるところまで引き出し、
一度上に持ち上げ（コンッという音がしてロックが外れます）、
さらに手前へ引き出します。



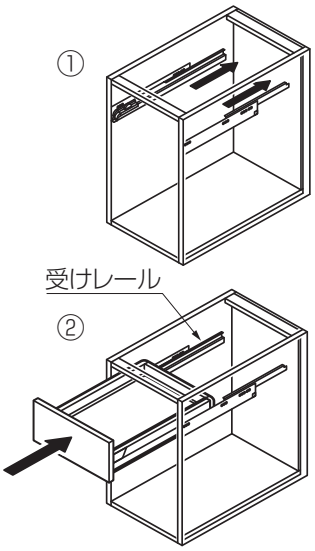
⚠ 注意

取り外すときは、サイドギャラリーを持たない。
※サイドギャラリーが外れて引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。
※引出しの側板または底面を持って取り外してください。



取り付ける

①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。
②引出しを受けレールに乗せ、奥まで押し込みます。
　その際、カチャカチャと音がしてロックされます。



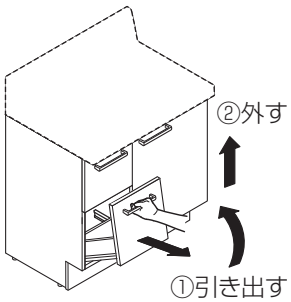
⚠ 注意

取付後は、数回開閉させ正しく取り付けられていることを確認する。
※使用中に外れてケガをする恐れがあります。

上記タイプ以外の場合

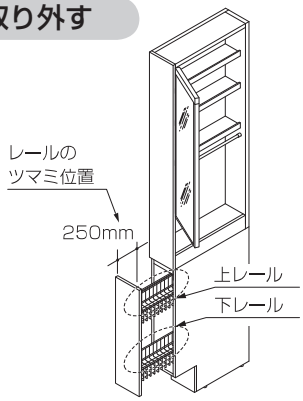
取り外す　①引出しを最後まで引き出します。
②引出しを持ち上げて外します。

取り付ける　取外しと逆の手順で取り付けます。



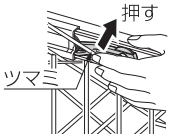
トールキャビネット（間口150タイプ）の場合

取り外す

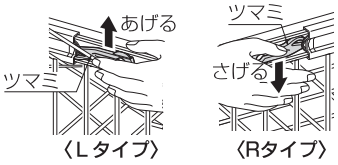


上図はLタイプです

①引出しを最後まで引き出します。
②下レールのツマミを押し、手前に引きます。

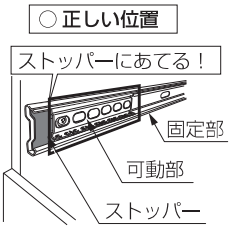


③上レールのツマミを
〈Lタイプの場合〉上げ
〈Rタイプの場合〉下げ
そのまま引出しを引き出します。



取り付ける

①キャビネット本体側のレールを手前に引き出し、引出しのレールと合わせます。
※レール内部の可動部の位置に注意して取り付けてください。ずれた位置で取り付けた場合、レールが破損し、動作不良の原因になります。



②引出しを最後まで押し込みます。

⚠ 注意

取付後は、数回開閉させ正しく取り付けられていることを確認する。
※使用中に外れてケガをする恐れがあります。

棚板の取付け・取外し

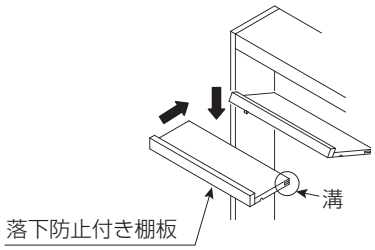
⚠ 注意

棚ダボや棚受けは確実に奥まで差し込む。
※棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。
※取付後は、しっかりはまっていることを確認してください。

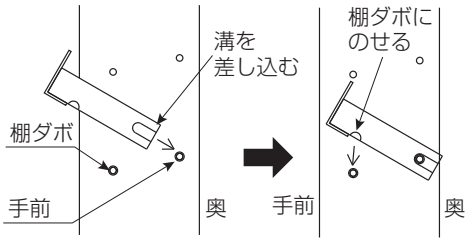
トールキャビネット（間口150タイプ）の場合

取り付ける

①キャビネット側面の取付穴に棚ダボ（棚1枚につき4個）をしっかり差し込みます。
※ 棚板の高さは棚ダボの差込位置により決まります。



②棚ダボに棚板を取り付けます。
棚板背面の溝を奥の棚ダボ（2ヵ所）に差し込んでから、裏面のくぼみを手前の棚ダボ（2ヵ所）に乗せます。



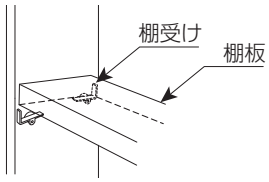
取り外す

※ 取り外しは逆の手順で行ってください。

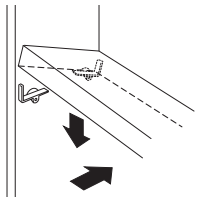
L型収納パック・対面収納用棚板の場合

取り付ける

①キャビネット側面の取付穴に棚受け（棚受け1枚につき4個）をしっかり差し込みます。

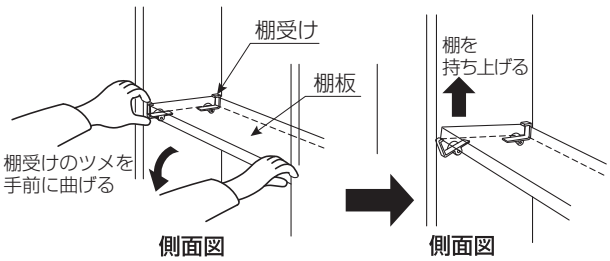


② 棚板を奥の棚受け（2ヵ所）にのせたまま手前に倒し、手前（2ヵ所）の棚受けに乗せます。
※棚板が手前と奥の棚受けにしっかり挟まれて、ガタツキなどないことを確認してください。



取り外す

①棚板の左右の棚受けのツメを手前に曲げながら、棚板の手前を上げます。



②棚板を斜め上に引き抜きます。

オプション

ドライヤーハンガー（BM-HX8）

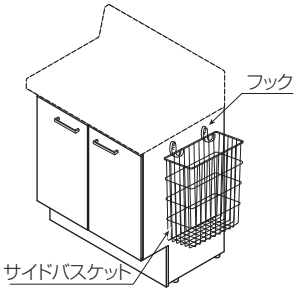
ヘアードライヤーの柄をドライヤーハンガーに収納します。
※収納した状態でドライヤーの使用はできません。
※ドライヤーハンガーを取り付けると収納が1つ使用できません。

⚠ 注意

ドライヤーは、コンセントから電源プラグを抜いて収納する。
※スイッチが不意に入り、発熱や発火による火災の恐れがあります。

サイドバスケット（BB-TD1-23）

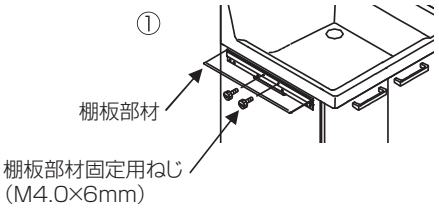
フックにサイドバスケットの上端部分を引っ掛けます。



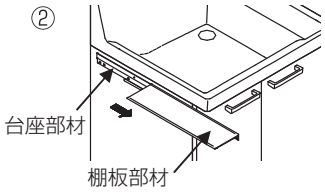
スキマ収納（BB-AR1、BB-AR2）

棚板部材を取り外す

①棚板部材固定用ねじ（2本）を緩めて取り外します。



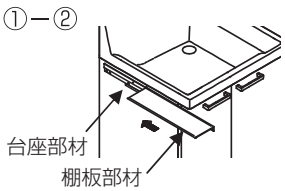
②棚板部材を台座部材から手前に引き出します。



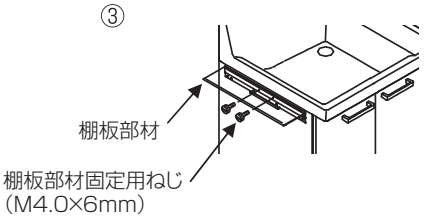
棚板部材を取り付ける

①棚板部材を台座部材にはめ込みます。

②台座部材と棚板部材の前面がそろうように合わせます。

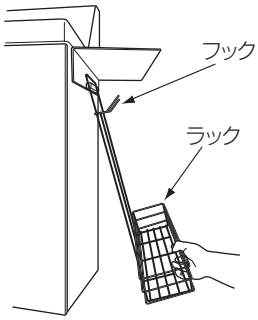


③棚板部材固定用ねじ（2本）を締めて棚板部材を取り付けます。



ラックの取付け（BB-AR2のみ）

台座部材のフックにラックの上端部分を引っ掛けます。



⚠ 注意

●スキマ収納に物を載せるときは勢いよく載せない。
●棚板には手をついて体重をかけない。
※棚板、ラックが破損･落下しケガをする恐れがあります。

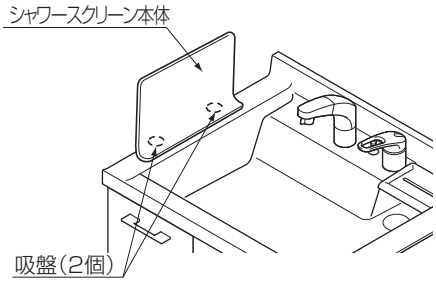
お願い

ラックの底には、水受けシートを置いて使用する。
※床に水が浸り、膨れ、汚れの原因になります。

シャワースクリーン（BB-PD2）

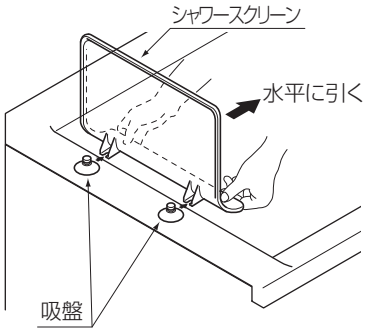
取り付ける

①吸盤を取り付けるカウンターのホコリや水滴をよく拭き取ります。
※取付面にホコリや水滴があると、吸盤の吸着力が弱くなります。



②シャワースクリーンに吸盤を取り付けます。

③吸盤を外側に向け、シャワースクリーンが垂直になるように、
カウンターに取り付けます。



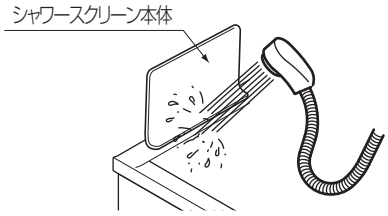
取り外す

シャワースクリーンを内側にスライドさせて、吸盤からシャワースクリーン本体を取り外します。

※吸盤はシャワースクリーン本体を取り外した後にカウンターから取り外します。

⚠ 注意

シャワースクリーンに直接水をかけない。
※水がこぼれ、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※シャワースクリーンは、洗面ボウル周辺への水ハネを抑えるものです。
洗面ボウルから水があふれるのを防ぐことはできません。

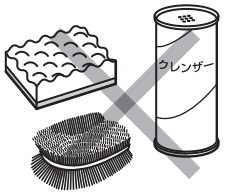


お掃除方法

お願い

●以下の道具、洗剤は使用しない。

・**研磨力の強いもの**（粉末クレンザー、磨き粉） ・**硬いスポンジ**（金属タワシ、ナイロンタワシ） ・**毛先の硬いブラシ** ・**古くなった布、ペーパータオル**	表面が傷つく
・**有機溶剤**（シンナー、ラッカーなど） ・**除光液** ・**薬品**（アルコール、塩酸など） ・**洗剤**（オレンジオイル配合のもの）	表面がヒビ割れ・ 変形する
・**酸性／アルカリ性／塩素系の洗剤**	・表面が変色やシミになる ・金属部にサビが発生する



●お手入れには柔らかいきれいな布を使用する。

鏡（くもり止めコートなし）※くもり止めコート付きの場合は、お手入れ方法が異なります。（☞3ページ）

使用する道具・洗剤	柔らかいきれいな布・ガラスクリーナー 綿棒・柔らかい毛のブラシ

■毎日のお手入れ　固く絞った布で水拭きします。

■ガンコな汚れは　ガラスクリーナーを吹き付け、布で拭き取ります。
鏡受けの隙間の汚れは、綿棒や柔らかい毛のブラシなどでかき出します。

ミラー本体・収納トレイ・照明カバー・スマートポケット

※お手入れするときは、収納物を取り出してから行ってください。
※収納トレイは、（ミラーキャビネット用／スマートポケット用）は、取り外してから行ってください。（☞15,16ページ）
※照明カバーは照明スイッチを切り照明カバーを取り外してから行ってください。（☞28ページ）
（LED照明タイプの照明カバーは取り外しできません。）

使用する道具・洗剤	柔らかいきれいな布・住宅用洗剤

■毎日のお手入れ　固く絞った布で水拭きします。

■ガンコな汚れは　布に住宅用洗剤を付け、汚れを拭き取ります。

〈収納トレイ・照明カバー・スマートポケットの汚れがひどい場合〉
40℃くらいのお湯をかけ、スポンジで水洗いします。
※丸洗いした場合は、よくすすぎ乾燥させてから取り付けます

本体の樹脂に発生する波紋状の黒ずみは、空気中のホコリが静電気により付着したものです。
から拭きすると静電気が起こりやすいので住宅用洗剤でのお手入れをおすすめします。

長くお使いいただくために

LED照明

LED照明タイプは、お客さまでLED光源のみ交換はできません。照明器具一式での交換になります。
交換・修理が必要な場合はLIXIL修理受付センターに依頼してください。（☞45ページ）

蛍光ランプの交換

⚠ 警告

照明を交換する場合は、照明スイッチを切ってから行う。
※ヤケド・感電の恐れがあります。

⚠ 注意

指定のワット数・形状のものを使用する。
※ワット数や形状が大きいと発火により火災になる恐れがあります。

■交換部品について

●適合する直管形蛍光ランプ
- 間口750・900の場合：直管スタータ20形（昼白色）(FL20SN 580mm)
- 間口1000・1200の場合：直管スタータ15形（昼白色）(FL15SN 436mm)

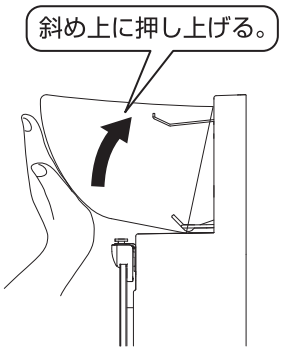
※昼光色、白色も取付け可能ですが、初期状態と色合いが異なります。
※ラビットスタータ形は使用できません。

■照明カバーの取外し

①照明スイッチを切り、照明器具が十分に冷めるのを待ちます。
②下図のように、照明カバーを取り外します。

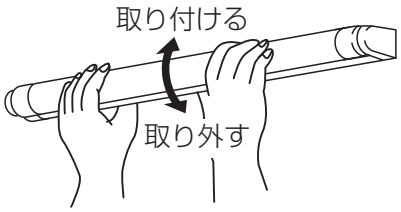
〈3面鏡MVJの場合〉

＜取外し方法＞



■蛍光ランプの交換

①蛍光ランプが十分に冷めているのを確認します。
②蛍光ランプの両側を持ち、上側を手前に引くようにしながら「カチッ」と音がするまで回します。
③そのまま手前に引く抜くようにして取り外します。



■照明カバーの取付け

下図のように、照明カバーを取り付けます。

〈3面鏡MVJの場合〉

＜取付方法＞

■交換後の確認

照明スイッチを入れ、蛍光ランプが点灯することを確認します。
照明スイッチを入れても蛍光ランプが点灯しない場合
「故障かな？と思ったら」をご覧ください。（☞42ページ）

電子スタータの交換

■交換部品について

電子スタータは：FE-1E

電子スタータは蛍光ランプを外して交換します。

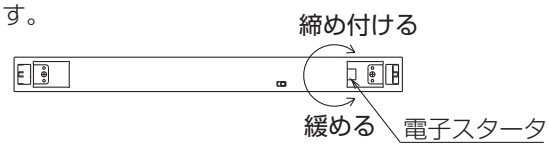
※FG-1Eのグローランプも使用できますが、点灯までの時間が少し長くなります。

■取外し方法

台座の右側の開口部にある電子スタータを図の緩める方向に回します。

■取付方法

新しい電子スタータを図の締め付ける方向に回します。



鏡扉の調節（3面鏡のみ）

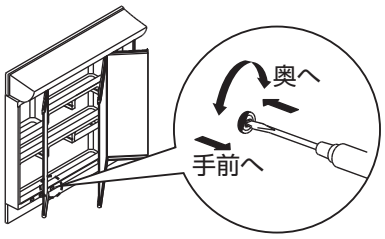
■扉がきちんと閉まらない場合

マグネットキャッチを左に回し、手前に出します。

■扉が出すぎている場合

マグネットキャッチを右に回し、奥に入れます。

※上下方向の傾きも調節してください。



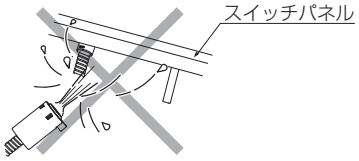
スイッチパネルのお手入れ

●スイッチパネルの汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
●ひどい汚れは水拭きで落した後、から拭きしてください。

お願い

スイッチパネルを掃除する際、直接水をかけない。

※水がキャビネット内に侵入し、キャビネット内部や収納物をぬらす場合があります。



水栓金具

使用する道具・洗剤	柔らかい布・歯ブラシ

■毎日のお手入れ

●汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
　それでも落ちないときは、水拭きし、最後にから拭きしてください。
●布で拭き取りにくい部分は、歯ブラシなどを使用してください。
●ハンドシャワー引出し口やレバーハンドルに決して直接水をかけないでください。

⚠ 注意

水栓やセンサーの表面を傷める恐れのある以下のものは使用しない。
・クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
・ナイロンタワシ、ステンレスタワシ、ブラシなど
・シンナー、ベンジンなどの溶剤

※変形、変色、故障、性能劣化の原因となります。
　また、掃除で酸性洗剤などを使った場合などはすぐに本品を十分水洗いしてください。

散水板の掃除

散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。
日頃から、散水板の表面を水拭きしてください。また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。

シングルレバーシャワー水栓
〈LF−WG397SY型の場合〉

■定期的なお手入れ

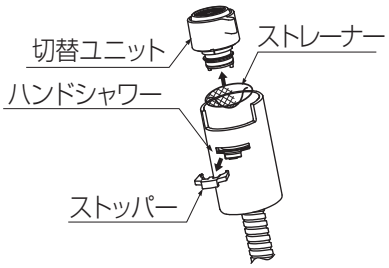
ストレーナーの掃除

切替ユニットのストレーナーにゴミが詰まると、吐出状態が乱れたり吐出量が少なくなります。ときどき、次の要領で掃除してください。

お願い

●ストッパーを紛失しないように注意する。
　※紛失すると切替ユニットを固定できなくなります。
●ドライバーを使用する場合はハンドシャワーにキズがつかないよう、必ず布を当てる。
　※ハンドシャワーにキズがつき、ケガをする恐れがあります。
●切替ユニットは回転させず、まっすぐ引き抜いて外す。
　※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。

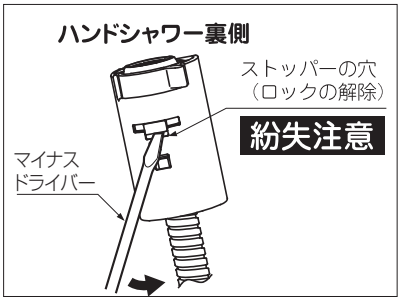
シングルレバーシャワー水栓



①ストッパーの紛失を防ぐため、排水栓を閉じます。

②ハンドシャワーの裏側にあるストッパーをスライドさせて、切替ユニットを取り外します。

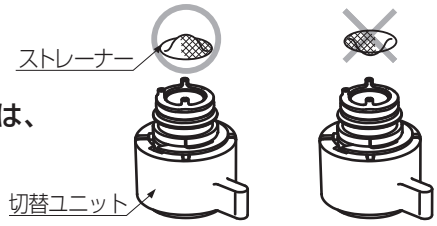
③ストレーナーのゴミを水洗いで取り除きます。



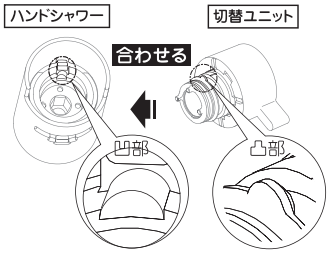
お願い

●切替ユニットを落とさないように注意する。
※破損したり、キズがついたりする恐れがあります。

●ストレーナが切替ユニットから外れてしまった場合は、向きに注意して取り付ける。
※向きが正しくないと、ゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなる場合があります。

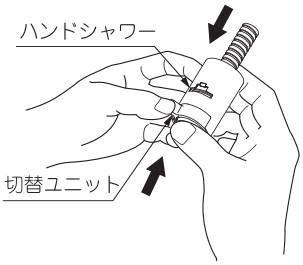


④切替ユニットの凸部をハンドシャワーの凹部に合わせて、はめ込みます。

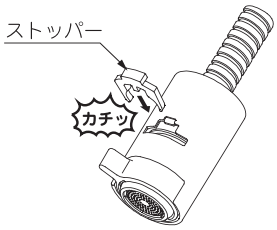


ストッパーは外した状態で作業してください。
ストッパーが飛び出し、ケガをする恐れがあります。

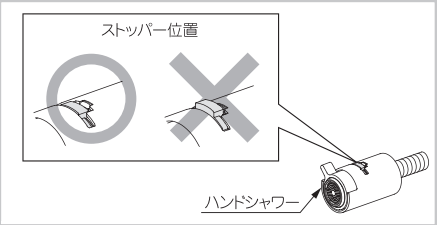
⑤切替ユニットをハンドシャワーの奥まで確実に押し込みます。



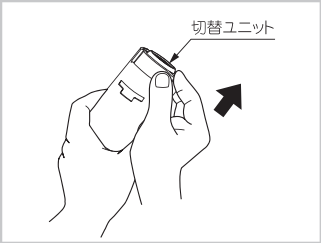
⑥ストッパーをロックします。



●ストッパーがハンドシャワーより はみだしていないことを確認する。

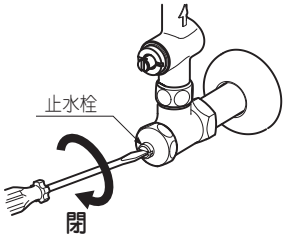


●取付け後、切替ユニットを引っ張っても外れないことを確認する。



寒冷地仕様の場合

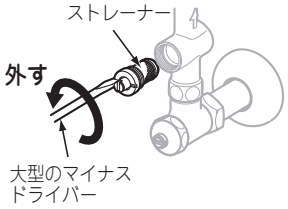
①給水（給湯）の止水栓を閉じます。
（右に止まるまで回す）



②ストレーナーをマイナスドライバーで取り外します。
（左に回す）

③ストレーナーのゴミを歯ブラシなどで洗剤を使わず、こすり落とします。

④ストレーナーを取り付けます。



■点検

水まわりの水漏れ（年2回以上）

●水まわりの水漏れがないか点検してください。
●見えない部分は特に注意が必要です。
（洗面化粧台・キャビネット内）
※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。
（☞45ページ）

水栓本体のガタツキ（年2回以上）

●水栓本体のガタツキがないかを確認してください。
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。
水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。（☞45ページ）

水の量の調節

水の量の調節は止水栓を操作して行ってください。

お願い

メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録する。
※止水栓を元の位置に戻すときに必要です。
※元の位置に戻さないと設定が変わるため、湯温の変化や水があふれる恐れがあります。

① 水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左の調節部）をマイナスドライバーで回して適量に調節します。

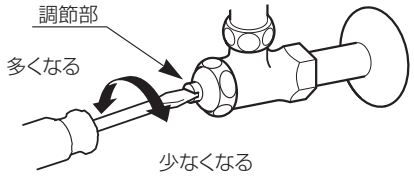
止水栓の操作

水の量を多くする …… 調節部を左に回す
水の量を少なくする …… 調節部を右に回す
閉める …… 調節部を右に止まるまで回す

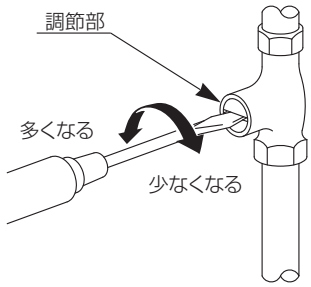
② 水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側の調節量と同じになるよう、水側止水栓（向かって右の調節部）をマイナスドライバーで回して調節します。

③ 水栓金具のレバーハンドルを中央（湯と水の中間）の位置で吐出し、水ハネを確認します。

●壁給水の場合



●床給水の場合



※上記はドライバー式止水栓の例です。

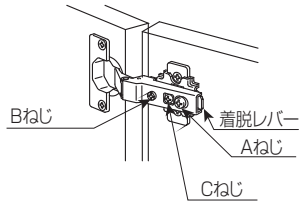
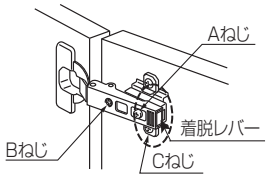
レバーハンドルを全開にしたときに、湯・水それぞれ約7L/min（1リットルの容器をいっぱいにするのに約9秒）となるように止水栓で調節してください。
※湯と水の量が同じになるように調節してください。

扉の調節

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節ができます。
●2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。

■準備するもの

手回しプラスドライバー

タイプⅠ	タイプⅡ（◯部に3本線があるもの）
	

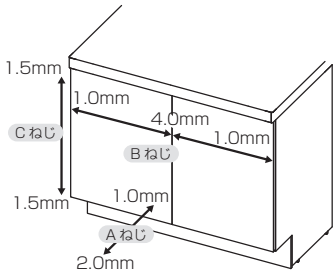
各ねじの調節方向と調節量

ねじを軽く緩めて、扉を前後に少しずつ動かして調節します。

Aねじ（前後調節）
タイプⅠ：前へ2mm、後へ1mm
タイプⅡ：前へ2mm、後へ1mm

Bねじ（左右調節）
タイプⅠ：右へ回す→内側へ4mm
左へ回す→外側へ1mm
タイプⅡ：右へ回す→右側へ2mm
左へ回す→左側へ2mm

Cねじ（上下調節）
ねじを軽く緩めて、扉を上下に少しずつ動かして調節します。
タイプⅠ：上へ1.5mm、下へ1.5mm
タイプⅡ：上へ2mm、下へ2mm



※図はタイプⅠの場合。

⚠ 注意

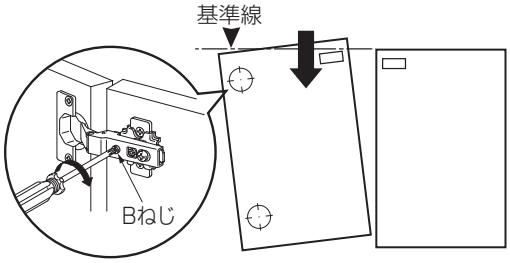
●調節ねじA・B・C以外のねじを緩めたり、外したりしない。
●調節後は、Aねじ、Cねじをしっかし締め付けられていることを確認する。
※扉が落下してケガをする恐れがあります。

扉の先端が上がっているとき

①**扉上方**の蝶番のBねじを**右**へ回して調節します。
　または、**扉下方**の蝶番のBねじを**左**へ回して調節します。

②扉を閉めて位置を確認します。

③正しい位置になるまで ①、② を繰り返します。

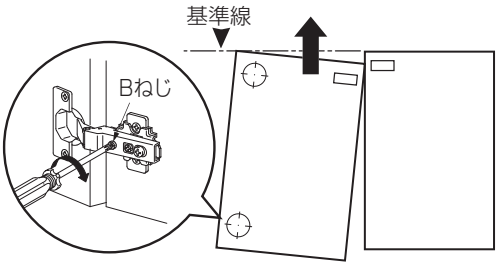


扉の先端が下がっているとき

①**扉下方**の蝶番のBねじを**右**へ回して調節します。
　または、**扉上方**の蝶番のBねじを**左**へ回して調節します。

②扉を閉めて位置を確認します。

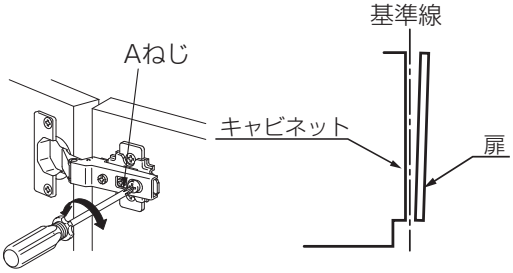
③正しい位置になるまで ①、② を繰り返します。



扉と側板の隙間が上下異なるとき

① 扉上方の蝶番のAねじを左へ回して緩め、扉を動かして
　前後の正しい位置にします。（基準値：隙間2mm）

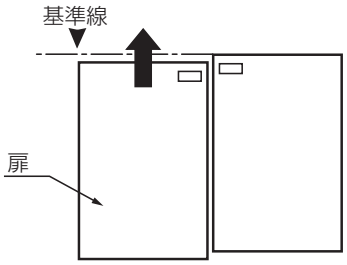
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回して緩め、扉を
　上下させて正しい位置にします。

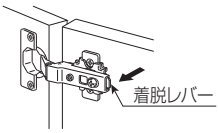
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



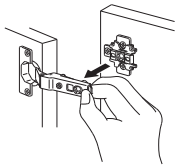
扉の取外し方法

①着脱レバーを手前に引っ張ります。

●タイプⅠ、Ⅱ



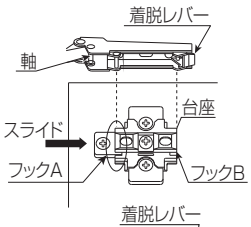
②蝶番を矢印の向きに引っ張って、
取り外します。



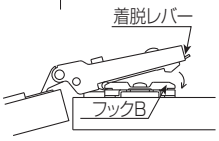
扉の取付方法

①扉を矢印の向きにスライドさせて
蝶番の軸をフックAに引っかけます。

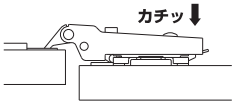
●タイプⅠ、Ⅱ



②着脱レバーをフックBに合わせます。



③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がする
まで押します。

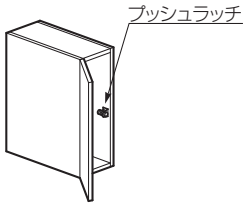


⚠ 注意

扉の取付後は、蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認する。
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

プッシュラッチ扉の調節

扉と本体の隙間が適切でないと、扉を開閉しにくいことがあります。
プッシュラッチの出を調節して隙間を調節してください。



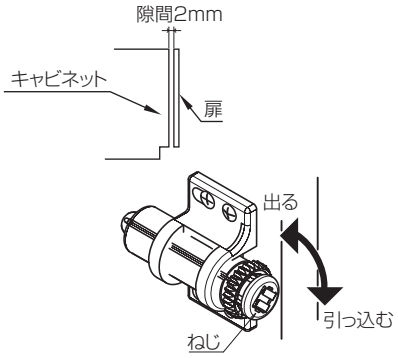
①扉と本体の隙間を確認して、プッシュラッチを調節します。（基準値：隙間2mm）

扉が閉まらない（反発して開く）

プッシュラッチのねじを右に回し、隙間を小さくします。

扉を押しても開かない

プッシュラッチのねじを左に回し、隙間を大きくします。



②扉を開閉してプッシュラッチが正しく動作するか確認します。

引出しの調節

●キャビネットタイプにより調節方法が異なります。22ページで該当タイプをご確認ください。
※体重計収納の引出しは調節できません。
●引出しを調節する際は、引出し内の収納物をすべて取り出してから行ってください。
●調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

ベースキャビネット（引出タイプ）の場合

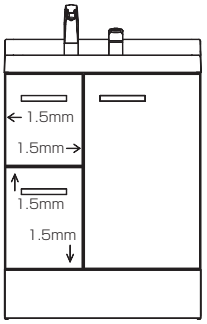
●引出しの取外け・取外し方法

22ページをご参照ください。

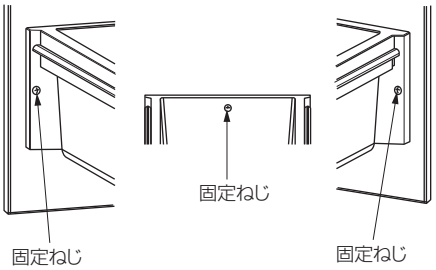
●引出しの調節方法

固定ねじを軽く緩めて、引出し前板を少しずつ動かして
調節します。

左右調節　右へ　1.5mm 、左へ 1.5mm
上下調節　上へ　1.5mm 、下へ 1.5mm



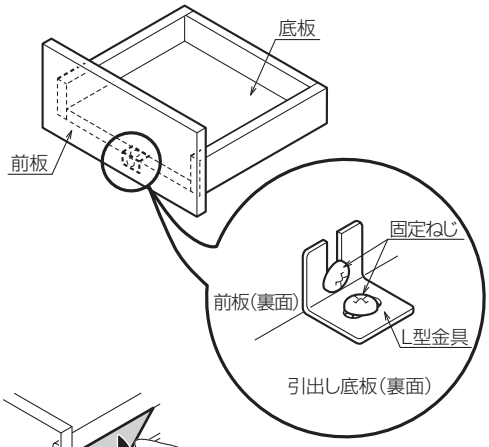
①引出しを取り外します。
②図の位置にある左右中央の固定ねじを手回しドライバーで
　緩めます。
③左右上下に調節します。
④手回しドライバーで固定ねじを締め付けます。
⑤引出しを取り付けます。
⑥正しい位置になるまで繰り返します。



ベースキャビネット（フルスライドタイプ）、トールキャビネット（ランドリータイプ）の場合

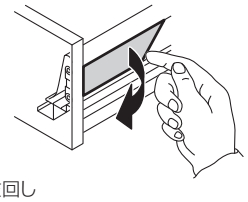
●調節前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、Ｌ型金具が取り付けてあります。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじを緩めて（金具が動く程度）から行ってください。
また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。



●引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外します。

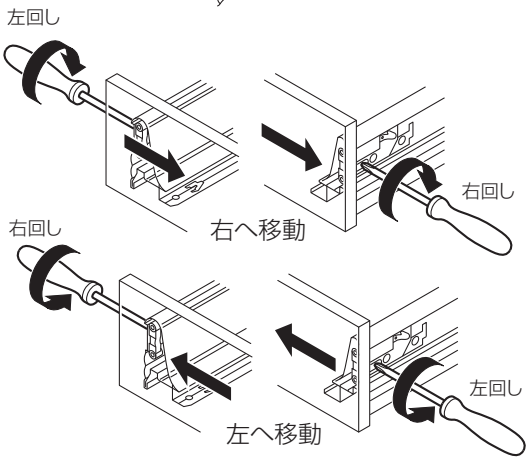


左右の調節

右図のように、左右調節ねじを回し調節します。

・右へ移動する：右側ねじを右に回し、
　　左側ねじを左へ回す。
・左へ移動する：右側ねじを左に回し、
　　左側ねじを右へ回す。

※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方向へ各 1mm （計 2mm ）程度。

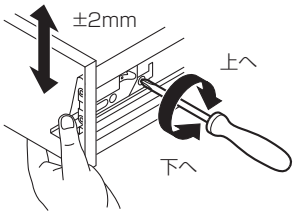


上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回し調節します。

・上へ移動する：ねじを右へ回す。
・下へ移動する：ねじを左へ回す。

※調節範囲：上下方向に各 2mm （計 4mm ）程度。

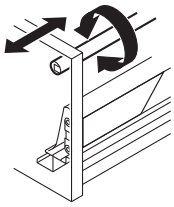


前板の傾き調節

右図のように、サイドギャラリー（パイプ）を回し
前板の傾きを調節します。

・前板を手前へ倒す：左へ（前板正面から見て）回す。
・前板を後方へ倒す：右へ（前板正面から見て）回す。

※サイドギャラリー後方の樹脂部品（グレー色）のねじ部に
　隙間が残りますが、この隙間は調節しろです。



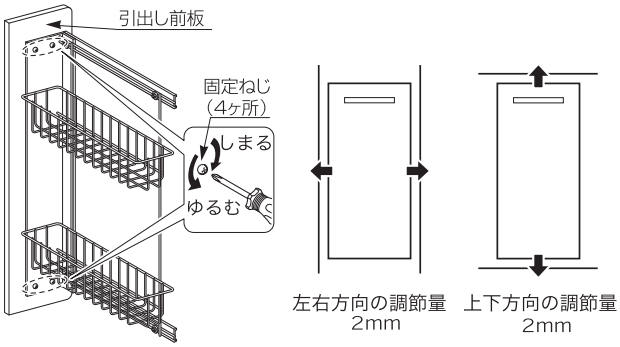
トールキャビネット（間口150タイプ）

●引出し前板を左右・上下へ調節する

① 前板調節部の固定ねじをすべて緩めます。

② 引出し前板を上下、左右に動かして正しい位置にします。

③ ①で緩めた固定ねじを固く締め付けます。



注意

調節後は必ず、固定ねじが固く締め付けられていることを確認する。

※緩んでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

トールキャビネット（スタンダードタイプ）の場合

1.引出しの取外し・取付け

22ページを参照してください。

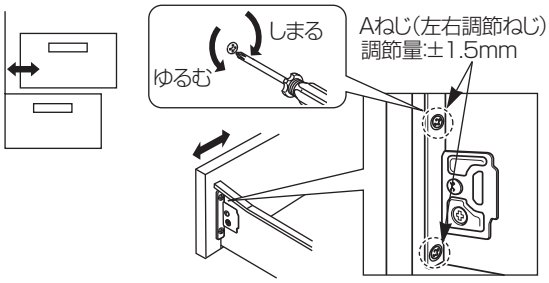
2.前板の調節

左右の調節

①Aねじを4ヵ所すべて緩めます。

②引出前板を左右に動かして調節します。

③①で緩めたAねじを固く締め付けます。



上下の調節

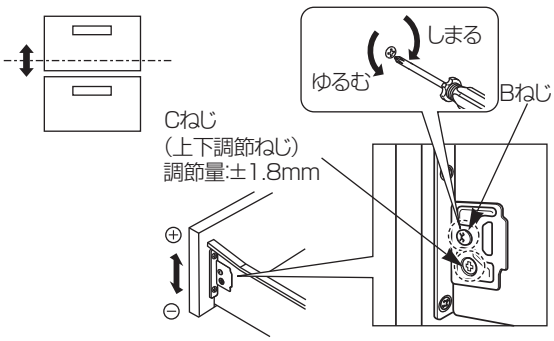
①Bねじを緩めます。（左へ回す）

②Cねじを回して調節します。

上に動かす場合：ねじを右に回す

下に動かす場合：ねじを左に回す

③①で緩めたAねじを固く締め付けます。



前板の傾き調節（傾き調節金具付きの場合）

①カバーを上に引き抜いて外します。

②Bねじを緩めます。（左へ回す）

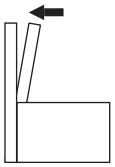
③Dねじを回して調節します。

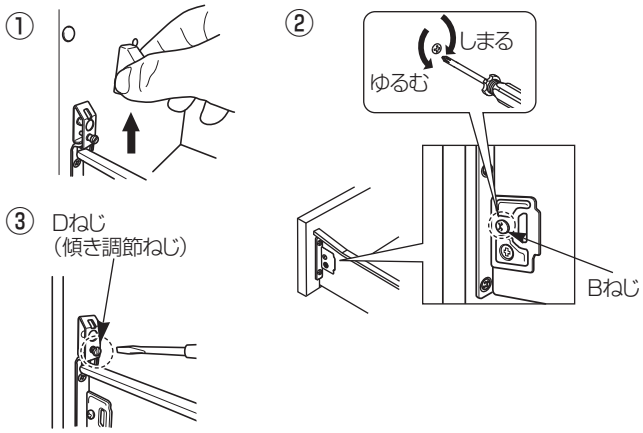
手前に倒す場合：ねじを右に回す

後ろに倒す場合：ねじを左に回す

④②で緩めたBねじを固く締め付けます。

⑤①で外したカバーをはめ込みます。

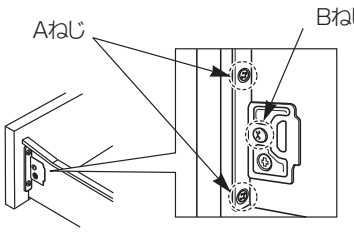




注意

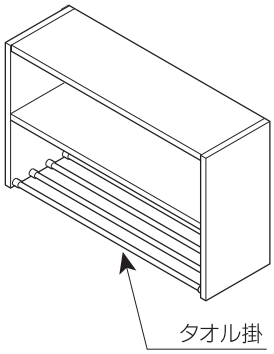
調節後は、必ずAねじ、Bねじが固く締め付けられていることを確認する。

※緩んでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

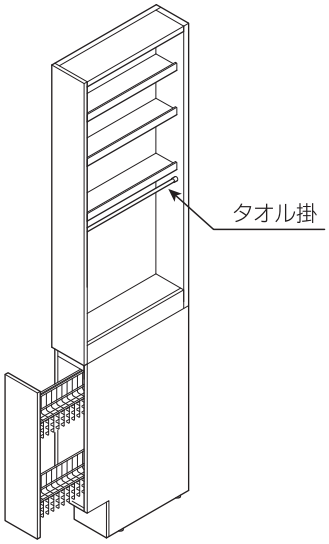


タオル掛の調節

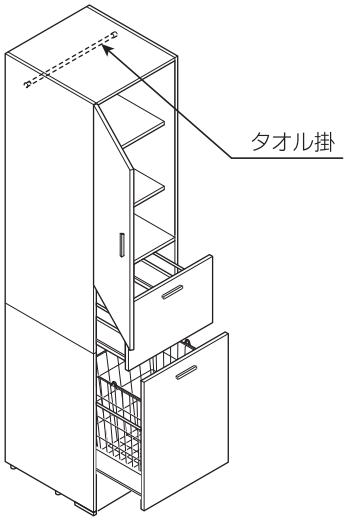
●ランドリーキャビネット



●150サイズ
トールキャビネット



●トールキャビネット
ランドリータイプ

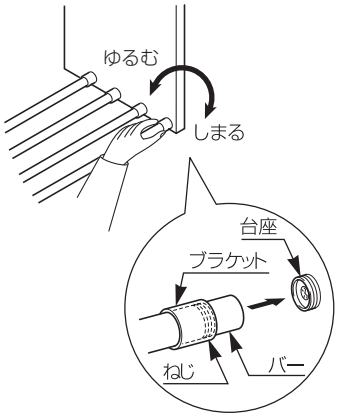


タオル掛が緩んだ場合

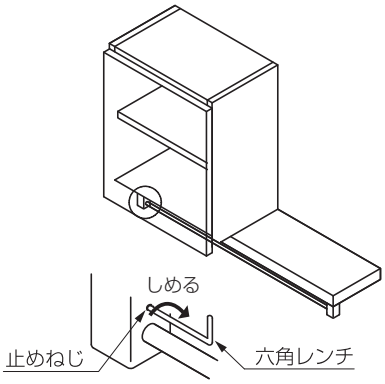
ブラケットは、ねじ構造となっています。
ブラケットを右に回して締めなおしてください。

タオル掛が外れた場合

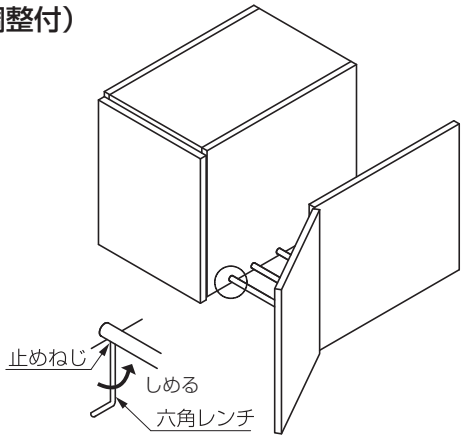
① バーにブラケットを通します。
②バーの片側を台座に合わせて、ブラケットを右に回して緩めに仮付けします。
③バーの反対側も②と同様に取り付けます。
④左右のブラケットを締めなおしてしっかり固定します。



●ランドリーキャビネット
（間口調整付）



●アッパーキャビネット
（間口調整付）



タオル掛が緩んだ場合

止めねじを六角レンチで右に回して締めなおしてください。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓金具の水抜き

⚠ 注意

凍結が予想される場合は、次の対策を実施する。
●水栓金具が一般地仕様の場合…水栓金具から少量の水を出したままにする。
●水栓金具が寒冷地仕様の場合…建築側配管の水抜き操作後に、水栓金具のハンドルを全開にして水抜き操作を行う。

※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害発生の恐れがあります。
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますのでご注意ください。

凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

一般地用をご使用の場合

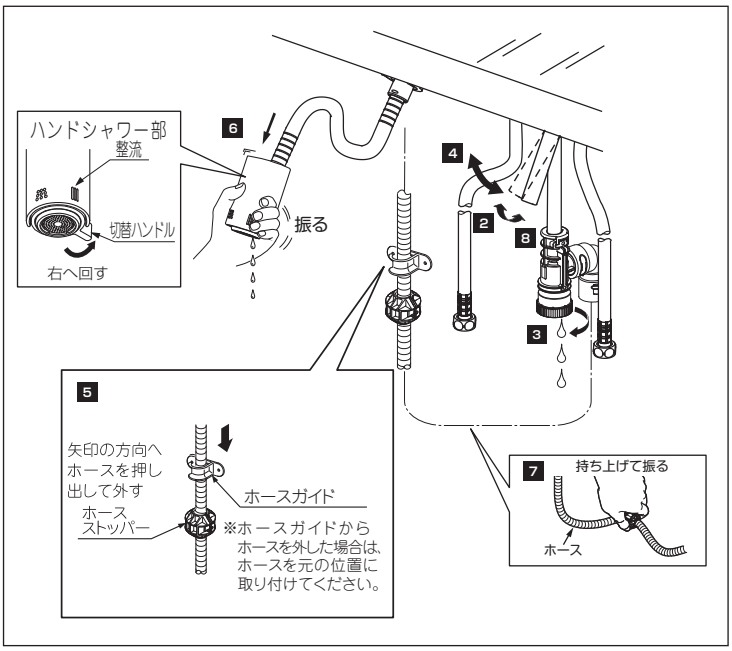
●水栓から少量の水を流し放しにする。
●配管などに保温材を巻く。

寒冷地用をご使用の場合

シングルレバーシャワー水栓〈LF―WG397SY型の場合〉

1. 配管の水抜栓を操作する。
2. レバーハンドルを上げる。
3. 水抜栓を開ける。
4. レバーハンドルを全開状態で数回、水側から湯側まで回す。
5. ホースガイドからホースを外す。
6. ハンドシャワーの切替ハンドルを整流にし、ハンドシャワーを振って水をよく切る。
7. ホースを水抜栓より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜く。
8. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルを閉める。

※水抜き完了後は忘れずに水抜栓を閉めてください。
※ホースガイドがある場合は、ホースを元に戻してください。



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

部位	こんなとき	対処方法	参照ページ
照明	LED照明が暗い。	修理を依頼してください。 LED照明は約4万時間の点灯で約70%の照度になります。(無償保証時間とは異なります。)	P45
	蛍光ランプが暗い･ちらつく。	蛍光ランプを交換してください。	P28
		使用地域の周波数に合わせてください。	P14
		電子スタータを交換してください。	P29
		故障ではありません。 (点灯中でも電源の電圧が下がったり、周囲温度が低かったりした場合などは、蛍光ランプの放電が不安定になり、ちらつきを発生することがあります。)	—
	蛍光ランプが点灯しない。	蛍光ランプをソケットにしっかりはめてください。	P28
		蛍光ランプを交換してください。	P28
		電子スタータをソケットにしっかりはめてください。	P29
		電子スタータを交換してください。	P29
	蛍光ランプが明るくなるまで時間がかかる。	故障ではありません。 (蛍光ランプは、明るくなるまで30秒くらいかかります。)	—
	蛍光ランプの明るさや光色が変化する。	故障ではありません。 (点灯後20分くらいで安定します。)	—
鏡扉	扉がきちんと閉まらない。 段差がある。	マグネットキャッチを回転させて調節してください。	P29
	扉がガタついている。	修理を依頼してください。	P45
	くもり止めコート付の鏡がくもる。	柔らかいきれいな布に約5倍に薄めた食器用洗剤(透明)を含ませて絞り、鏡表面を軽く拭いてください。	P3
	くもり止めコート付の鏡にうがい薬や毛染液がついて変色した。	すぐにコットンに食器用中性洗剤(透明)をしみこませたものを1～2時間貼り付けた後、柔らかいきれいな布に水を含ませて軽く拭くことで色を薄くすることができます。	P3
スマートポケット	黒い粉が発生した。	微量の場合は、拭き取ってください。 蝶番の摩耗により金属粉が発生しますが異常ではありません。	P27
		著しい場合は、修理を依頼してください。	P45
	扉がガタついている。	修理を依頼してください。	P45

部位	こんなとき	対処方法	参照ページ
水栓金具	吐水しない。	止水栓を開いてください。	P33
		ストレーナーのゴミを取り除いてください。	P30,31
	水の出が悪い。	止水栓を開いてください。	P33
		ストレーナーのゴミを取り除いてください。	P30,31
	水ハネが多い。	止水栓を調節してください。	P33
	水が止まらない。	止水栓を閉めて、修理を依頼してください。	P45
キャビネット	扉がガタついている。	蝶番調整用ねじを増締めしてください。	P34
	扉·引出し前板がずれている。	ズレを調節してください。	P34～39
	タオル掛が緩んでいる。	ブラケットを固定しなおしてください。	P40
排水口	水がたまらない。	排水栓のパッキンの向きや変形がないか確認してください。	—
	洗面ボウルから水があふれる。	止水栓を調節してください。	P33
	排水の流れが悪い。	排水口、排水トラップを掃除してください。	☆
	排水栓が開閉しない。	排水口まわりのゴミや砂を取り除いてください。	P20
	オーバーフロー穴から泡が出てくる。	大量に泡を流したり泡立ちの良い洗剤を使用した時に起こる現象で異常ではありません。少し間をおき、泡が落ち着いてから流してください。	—
	水が抜けていく。	多めに水ためをし、栓に水圧をかける。または、栓を手で軽く押し排水口に密着させることで抜けにくくすることができます。	—
排水トラップ	水が漏れている。	排水トラップの締付ナット、掃除口を締めなおしてください。	☆

※☆については「お手入れガイド」をご覧ください。

●水を止めた後に少しのあいだ水が垂れる…
切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。

アフターサービスについて

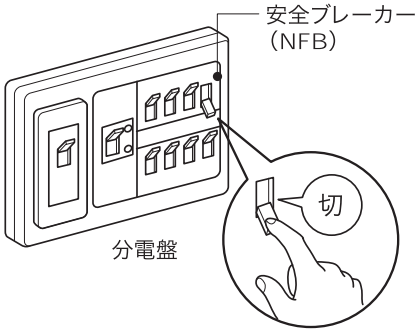
修理を依頼される前に

商品が故障したら42,43ページ「故障かな？と思ったら」を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
取扱説明書どおりにご使用されても、まだご不明な点がある場合は、当社お客さま相談センターにご相談ください。

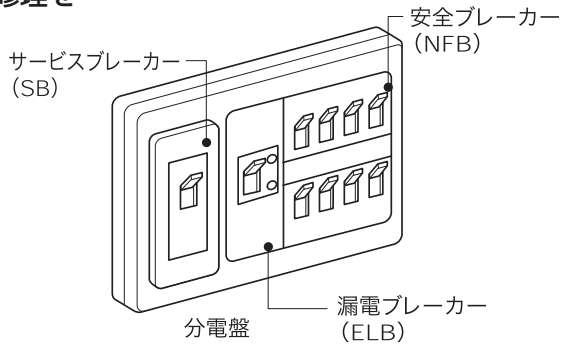
⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わない。
※発火したり、異常作動してケガをする恐れがあります。
※異常のまま運転を続けると火災や漏電・漏水の恐れがあります。

●ミラーキャビネットの周辺で異臭や異常音がする場合は、電気機器のスイッチ及び分電盤の安全ブレーカーを切り、速やかに修理を依頼する。
※異常のまま使用を続けると火災や漏電の恐れがあります。



●洗面室の電気機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、速やかに修理を依頼する。
※洗面室の電気機器などに異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電などの恐れがあります。



保証書をご覧ください

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などについては保証の対象となりませんのでご注意ください。

- ●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- ●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- ●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- ●蛍光ランプや水栓金具、排水トラップの止水パッキンなどの消耗品

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

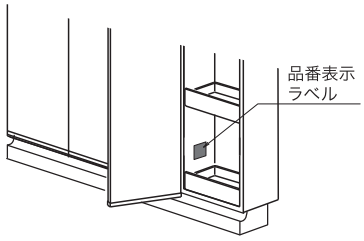
●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番（☞46,47ページ「品番を調べる」）
●取付年月日（保証書に表示）
●故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）（☞42,43ページ「故障かな？と思ったら」）
●ご訪問希望日
※お客さまからご連絡いただく氏名や住所などの個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し、管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先･アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、LIXIL修理受付センターに連絡してください。
●お求めの取扱店（保証書に表示）
●LIXIL修理受付センター
TEL 0120-179-411　　受付時間 9：00～20：00（365日受付）
FAX 0120-179-456
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

品番を調べる

ミラーキャビネット



品番表示ラベルで品番を確認してください。

品番表示ラベル例

・品番表示ラベルは、お問い合わせ・部品交換の際に必要な情報のため、製品に貼り付けた状態で使用してください。

■品番の見方

①	②			③			④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨
M	V	J	-	1	2	0	3	K	X	J	U	-	G

① 部位
　M ： ミラーキャビネット

② シリーズ
　VJ ： シリーズ名 MV＜エムブイ＞

③ 間口
　75 ： 750mm
　90 ： 900mm
　100 ： 1000mm
　120 ： 1200mm

④ 鏡枚数
　3 ： 3面鏡

⑤ タイプ詳細
　T ： 全収納
　K ： スマートポケット付全収納

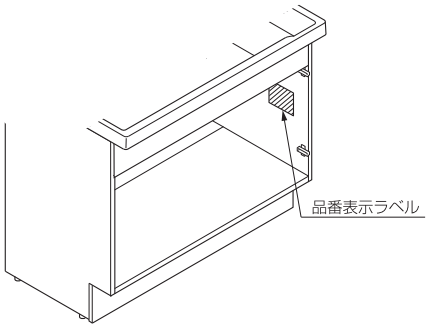
⑥ 高さ
　X ： 全高1,900mm用

⑦ 照明
　省略 ： 蛍光灯ランプ
　J ： LED照明

⑧ くもり止めコート
　省略 ： なし
　U ： くもり止めコート付

⑨ 電源仕様
　省略 ： プラグ式電源仕様
　G ： 直結式電源仕様

ベースキャビネット



品番表示ラベルで品番を確認してください。

品番表示ラベル例

品番
VJFHT-90***
製造番号
A0101-15A010001
修理のご依頼は、お求めの
販売店または
LIXIL修理受付センター
0120-179-411
http://www.lixil.co.jp/support/
株式会社 LIXIL

・品番表示ラベルは、お問い合わせ・部品交換の際に必要な情報のため、製品に貼り付けた状態で使用してください。

■品番の見方

①		②		③		④			⑤				⑥		⑦			⑧			⑨
V	J	F	H	T	-	1	2	0	5	S	F	Y	N	-	G	L	/	L	M	2	H

① シリーズ
VJ ： シリーズ名 MV＜エムブイ＞

② 収納タイプ
N ： 扉タイプ
H ： 引出タイプ
FH ： フルスライドタイプ

③ 取っ手
K ： ハンドル取っ手
T ： 手掛け

④ 間口
75 ： 750m
90 ： 900mm
100 ： 1000mm
120 ： 1200mm

⑤ 水栓金具
5SY ： シングルレバーシャワー水栓
5SFY: 即湯シングルレバーシャワー水栓

⑥ 一般地・寒冷地
省略 ： 一般地仕様
N ： 寒冷地仕様

⑦ ドア枠回避
省略 ： ドア枠回避なし
G ： ドア枠回避（引出用）
GL ： 向かって左側ドア枠回避（フルスライド用）
GR ： 向かって右側ドア枠回避（フルスライド用）

⑧ 扉色

YS2	：	グロスホワイト	ハイグレード
LD2	：	クリエダーク	ハイグレード
LM2	：	クリエモカ	ハイグレード
LP2	：	クリエペール	ハイグレード
HD2	：	ディープグレー	ハイグレード
HP2	：	パステルピンク	ハイグレード
VP1	：	ホワイト	スタンダード

⑨ カウンター色
H ： プレーンネオホワイト（PH-01）

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後化粧台／ミラーキャビネットは6年間、水栓金具は10年間です。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますので、ご了承願いします。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品は代替品（仕様・形状・材質などが異なる部品）でのご提供となる場合があります。

仕様

ミラーキャビネット

■MVJシリーズ-3面鏡（LED照明・スマートポケット付）

間口(mm)	750	900	1000	1200
品　番	MVJ-753KXJU(-G)	MVJ-903KXJU(-G)	MVJ-1003KXJU(-G)	MVJ-1203KXJU(-G)
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	750×170×916	900×170×916	1000×170×916	1200×170×916
主な材質	本体：PP樹脂、トレイ：PP樹脂			
鏡	中央鏡：くもり止め仕様×1　　袖鏡：防湿仕様×2			
照　明	昼白色LED			
定格電圧周波数	AC100V　50Hz／60Hz			
定格消費電力	6W			
コンセント	3口：使用電力は合計1300Wまで			
色	ホワイト			
スマートポケット用 収納トレイ	トレイ110×2 トレイ450×1 トレイ用間仕切り(大)×1 トレイ用間仕切り(小)×2	トレイ110×2 トレイ300×2 トレイ用間仕切り(大)×2 トレイ用間仕切り(小)×4	トレイ110×2 トレイ350×2 トレイ用間仕切り(大)×2 トレイ用間仕切り(小)×4	トレイ110×2 トレイ300×3 トレイ用間仕切り(大)×3 トレイ用間仕切り(小)×6
ミラーキャビネット用 収納トレイ	トレイ(小)225×5 トレイ(中)300×2 トレイ(大)525×1	トレイ(小)225×8 トレイ(小)275×3 トレイ(中)450×1	トレイ(小)225×2 トレイ(小)275×9 トレイ(中)450×1	トレイ(小)225×2 トレイ(小)275×3 トレイ(中)375×6 トレイ(中)450×1

■MVJシリーズ-3面鏡（LED照明）

間口(mm)	750	900	1000	1200
品　番	MVJ-753TXJU(-G)	MVJ-903TXJU(-G)	MVJ-1003TXJU(-G)	MVJ-1203TXJU(-G)
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	750×170×916	900×170×916	1000×170×916	1200×170×916
主な材質	本体：PP樹脂、トレイ：PP樹脂			
鏡	中央鏡：くもり止め仕様×1　　袖鏡：防湿仕様×2			
照　明	昼白色LED			
定格電圧周波数	AC100V　50Hz／60Hz			
定格消費電力	6W			
コンセント	3口：使用電力は合計1300Wまで			
色	ホワイト			
収納トレイ	トレイ(小)225×7 トレイ(中)300×3 トレイ(大)525×1	トレイ(小)225×11 トレイ(小)275×4 トレイ(中)450×1	トレイ(小)225×2 トレイ(小)275×11 トレイ(中)450×2	トレイ(小)225×2 トレイ(小)275×3 トレイ(中)375×8 トレイ(中)450×2

■MVJシリーズ-3面鏡（蛍光ランプ）

間口(mm)	750	900	1000	1200
品　番	MVJ-753TX(U)(-G)	MVJ-903TX(U)(-G)	MVJ-1003TX(U)(-G)	MVJ-1203TX(U)(-G)
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	750×176×916	900×176×916	1000×176×916	1200×176×916
主な材質	本体：PP樹脂、トレイ：PP樹脂、照明カバー：PS樹脂			
鏡	Uあり…中央鏡：くもり止め仕様×1　　袖鏡：防湿仕様×2 Uなし…防湿仕様×3			
照　明	蛍光管(昼白色) 20WタイプX1本 電子管スタータ仕様		蛍光管(昼白色) 15WタイプX2本 電子管スタータ仕様	
定格電圧周波数	AC100V　50Hz／60Hz			
定格消費電力	24W		38W	
コンセント	2口：使用電力は合計1300Wまで			
色	ホワイト			
収納トレイ	トレイ(小)225×5 トレイ(中)300×2 トレイ(大)525×1	トレイ(小)225×8 トレイ(小)275×3 トレイ(中)450×1	トレイ(小)225×2 トレイ(小)275×9 トレイ(中)450×1	トレイ(小)225×2 トレイ(小)275×3 トレイ(中)375×6 トレイ(中)450×1

洗面化粧台

■化粧台本体　品番一覧

扉タイプ

間口(mm)		タイプ	750	900
品番	即湯シングルレバー シャワー水栓	ハンドル取手	VJNK-755SFY(N)	VJNK-905SFY(N)
		手掛け	VJNT-755SFY(N)	VJNT-905SFY(N)
	シングルレバー シャワー水栓	ハンドル取手	VJNK-755SY(N)	VJNK-905SY(N)
		手掛け	VJNT-755SY(N)	VJNT-905SY(N)

引出タイプ

間口(mm)		タイプ	750	900	1000	1200
品番	即湯シングルレバー シャワー水栓	ハンドル取手	VJHK-755SFY(N)	VJHK-905SFY(N)	VJHK-1005SFY(N)	VJHK-1205SFY(N)
		手掛け	VJHT-755SFY(N)	VJHT-905SFY(N)	VJHT-1005SY(N)	VJHT-1205SY(N)
	シングルレバー シャワー水栓	ハンドル取手	VJHK-755SY(N)	VJHK-905SY(N)	VJHK-1005SFY(N)	VJHT-1205SFY(N)
		手掛け	VJHT-755SY(N)	VJHT-905SY(N)	VJHT-1005SY(N)	VJHT-1205SY(N)

フルスライドタイプ

間口(mm)		タイプ	750	900	1000	1200
品番	即湯シングルレバー シャワー水栓	ハンドル取手	VJFHK-755SFY(N)	VJFHK-905SFY(N)	VJFHK-1005SFY(N)	VJFHK-1205SFY(N)
		手掛け	VJFHT-755SFY(N)	VJFHT-905SFY(N)	VJFHT-1005SY(N)	VJFHT-1205SY(N)
	シングルレバー シャワー水栓	ハンドル取手	VJFHK-755SY(N)	VJFHK-905SY(N)	VJFHK-1005SFY(N)	VJFHT-1205SFY(N)
		手掛け	VJFHT-755SY(N)	VJFHT-905SY(N)	VJFHT-1005SY(N)	VJFHT-1205SY(N)

間口(mm)	750	900	1000	1200
品番	上記品番一覧をご覧ください			
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	750×500×1060	900×500×1060	1000×500×1060	1200×500×1060
水栓金具	①即湯シングルレバーシャワー水栓 LF-WG397SY-MB(寒冷地仕様:LF-WG397SYN-MB) +即湯器 ②シングルレバーシャワー水栓 LF-WG397SY-MB(寒冷地仕様:LF-WG397SYN-MB)			
排水器具	ポップアップ式排水栓セット / BB-RSJ(750)-A			
本体	木組構造(合板、パーティクルボード、MDF)			
カウンター	人造大理石(ポリエステル樹脂系) ／ 洗面ボウル容量 16L ／ PH-01:プレーンネオホワイト			
付属品	排水トラップ、排水アダプター、排水プレート、高さレベル調整用スペーサーセット			

アッパーキャビネット

品番	VJU-155C	VJU-255C	VJU-305C	VJU-455C	VJU-755C	VJU-905C	VJU-1005C	VJU-1205C
サイズ	150×490×400	250×490×400	300×490×400	450×490×400	750×490×400	900×490×400	1000×490×400	1200×490×400
付属品	ー							

アッパーキャビネット（間口調整機能付）

品番	VJU-655FL(R)	VJU-755FL(R)
サイズ	710X490X400	810X490X400
付属品	ー	

アッパーキャビネット（ダウン機構付）

品番	VJU-755W	VJU-905W
サイズ	750X490X400	900X490X400
付属品	ー	

トールキャビネット（オープンスライドタイプ）

品番	VJST-155L(R) VJSK-155L(R)
サイズ	150X490X1900
付属品	棚板（3枚）

トールキャビネット（姿見タイプ）

品番	VJS-305ML(R)
サイズ	300X498X1900
付属品	棚板（2枚） アミカゴ（3個）

トールキャビネット（ランドリータイプ）

品番	VJST-305DL(R) VJSK-305DL(R)	VJST-455DL(R) VJSK-455DL(R)
サイズ	300X490X1900	450X490X1900
付属品	棚板（2枚） アミカゴ（1個）	棚板（2枚） アミカゴ（1個）

トールキャビネット（標準タイプ）

品番	VJST-255 VJSK-255	VJST-305 VJSK-305	VJST-455 VJSK-455
サイズ	250X490X1900	300X490X1900	450X490X1900
付属品	棚板(2枚)	棚板(2枚)	棚板(2枚)

ミドルキャビネット

品番	VJK-252C
サイズ	250X225X400
付属品	棚板（1枚）

ランドリーキャビネット（間口調整付）

品番	VJK-652FL(R)	VJK-752FL(R)
サイズ	710X225X400	810X225X400
付属品	棚板（1枚） タオル掛（1個）	棚板（1枚） タオル掛（1個）

ランドリーキャビネット（オープンタイプ）

品番	LCVKO-652	LCVKO-752
サイズ	650X208X400	750X208X400
付属品	ー	ー

※高さ対応（＋50mm）：本体品番末尾「-U」
※高さ対応（－50mm）：本体品番末尾「-D」

水栓金具

シングルレバーシャワー水栓
〈LF－WG397SY型の場合〉

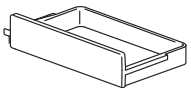
<table>
<tr><td>給湯器設定温度</td><td>85℃以下</td><td>使用可能水質</td><td>水道水および飲用可能な井戸水（※1）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用環境温度</td><td>【一般地仕様】　0～40℃</td><td colspan="2" rowspan="2">ただし、内部の水を凍結させないでください。</td></tr>
<tr><td>【寒冷地仕様】－20～40℃</td></tr>
<tr><td>給水給湯接続</td><td colspan="3">G1/2</td></tr>
<tr><td>圧　力　条　件</td><td colspan="3">0.05（流動圧）～0.75MPa（静水圧）
給水圧力≧給湯圧力</td></tr>
</table>

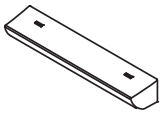
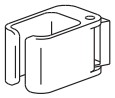
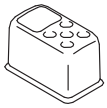
※ 1： 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

オプション品・交換部品

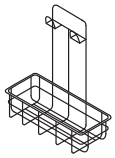
※価格は2016年4月現在のものです。(税別)
※仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

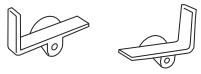
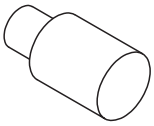
■3面鏡の場合

品　名	収納トレイ					
品　番	BM-MDA-TR225	BM-MDA-TR275	BM-MDA-TR300	BM-MDA-TR375	BM-MDA-TR450	BM-MDA-TR525
主な材質	PP樹脂					
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	176×85×40	226×85×40	256×85×40	326×85×40	419×85×40	456×85×40
外　観	 225:全間口共通 275:900・1000・1200間口用 300:750間口用			375:1200間口用 450:900・1000・1200間口用 525:750間口用		
価格(税別)	¥800	¥800	¥800	¥900	¥1,000	¥1,200

品　名	照明カバー(MGJ用)				ドライヤーハンガー	歯ブラシ立て
品　番	BM-MAR-SC75-SET	BM-MAR-SC90-SET	BM-MAR-SC100-SET	BM-MAR-SC120-SET	BM-HX8	BM-HB4(BW1)
主な材質	PS樹脂				ABS樹脂	PP樹脂
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	737×152×113	987×152×113	986×152×113	1186×152×113	50×80×50	126×69×74
外　観						
価格(税別)	¥4,800	¥4,800	¥5,400	¥6,000	¥2,600	¥1,500

品　名	サイドバスケット	シャワースクリーン
品　番	BB-TD1-23	BB-PD2
主な材質	鉄線 PEコーティング	HIPS樹脂
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	230×425×530	400×66×200
外　観	(フック付) ※商品の使い方は、25ページのイラストをご参照ください。	(2枚1組)
価格(税別)	¥4,700	¥5,800

品　名	スキマ収納用ラック
品　番	BB-AR2-R
主な材質	ステンレス・チューブ付
サイズ(mm)(幅×奥行×高さ)	394×128×550
外　観	
価格(税別)	¥8,000

品　名	棚受け（4個入り）	棚ダボ（4個入り）	ヘアキャッチャー
品　番	JBS-544	BTD-1	LF-MV-HC
主な材質	—	ブロンズメッキ	—
サイズ（mm） （幅×奥行×高さ）	55×10×25	6×16	68×68×80
外　観			
価格（税別）	¥1,000	¥120	¥2,800

購入方法

オプション品・交換部品の品番と名称をご指定ください。
オプション品・交換部品の品番と名称が不明のときは、当社お客さま相談センターにおたずねください。

取扱店などで購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の取扱店で お求めください。	LIXILサービスショップ　水回り部品販売の宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） 0120-126-015 受付時間　9：00～17：00 （ゴールデンウィーク、年末年始、夏期休暇を除く）

廃棄について

キャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

LIXIL

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番： MV		
保証期間 取付日より 2ヶ年		取付日 年 月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名
	おところ	
	おでんわ ( ) ―	TEL ( ) ―

無効

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
(2) 取付説明書などに基づかない取付け及び工事に起因する不具合
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9) 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
(10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
(13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷
（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう。）
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　化粧台／ミラーキャビネットは6ヶ年、水栓金具は10ヶ年です。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-179-400

FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　9:00～18:00
　　土日･祝日　9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話･PHS･IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411

FAX 0120-179-456

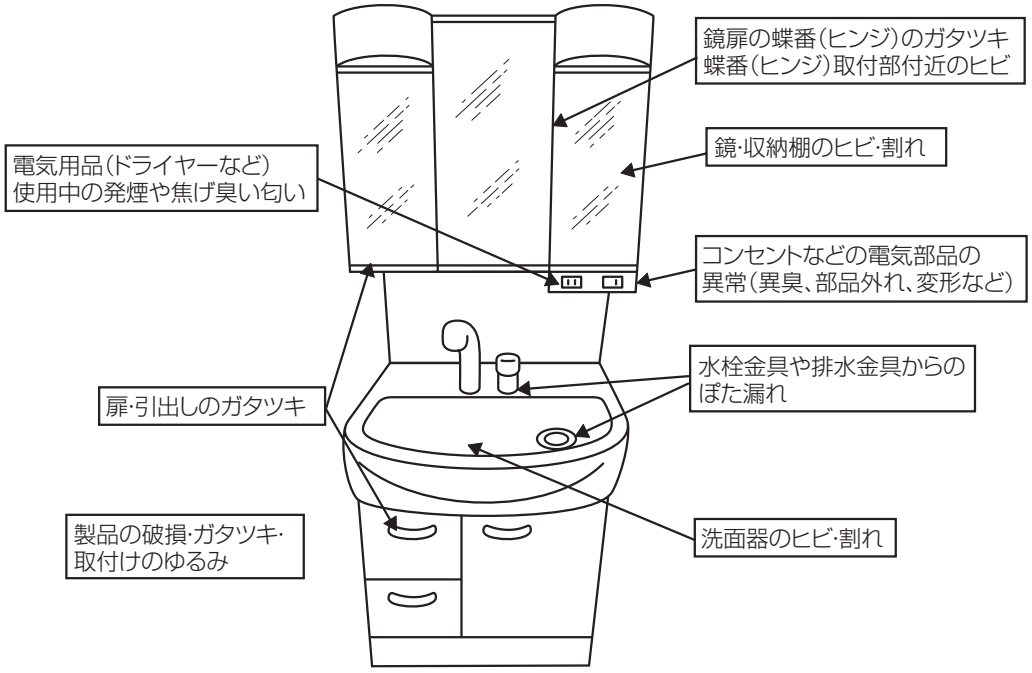
受付時間　9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さまなどの個人情報を商品購入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。



袋:PE

GMB-0482（16061）